顧問 大隈重信　會長 島田三郎
同 森村市左衛門　副會長 安部磯雄

3―967
（明治四十四年八月七日第三種郵便物認可）
（大正五年十二月一日納本）
（毎月一回一日發行）

廓清

第六巻第十二號

□廓清時言……伊藤江南
□敬虔眞摯の生活……衆議院議長 島田三郎
□自由戀愛の教訓……早大教授 安部磯雄
□自由戀愛の結論……眞新婦人主幹 西川文子
□女子の愛は排他的……婦人の友主幹 羽仁もと子
□運命と禍福觀……農學博士 法學博士 新渡戸稲造
□女學生の宗教觀……内閣統計官 横山雅男
□兄弟喧嘩の心理……元夕陽丘女學校長 伊賀駒吉郎
□全國各府縣別私娼檢診狀態表……
□婦人と體格……醫學士 高田多家雄
□遊廓物語……救世軍婦人救濟係 伊藤富士雄
□酒と煙草と女……文學博士 井上哲次郎
□廓清春秋……河合北洲

東京 廓清會本部 發行

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

健康第一！

ライオン歯磨は

諸君の健康を保障す。

クリスマスには『健康』を贈られよ。

ライオン歯磨の家庭用美術大鑵入、特大袋箱入、並に『子供歯磨』の一ダース箱入など、最も美麗で重寳でございます。

本舗東京　小林富次郎
支舗　大阪・名古屋

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

清廓

THE PURITY.

大正五年十二月

第六卷第十二號

廓清時言

大正五年を送る

地球はまた一旋轉を了して、紅葉地に有り、滿目漸く蕭條として、天既に寒し。多事なりし大正五年は斯くて逝かんとす。豈感慨なからんや。吾人は本年の初頭、一年の勘定日至らん日首を回らして會心の笑ひを洩らさん事を期したり。而して今其の決算日に接し幾何の貢献を社會と人道との爲めになし得たりしとする乎。顧れば本年に入りて新に支部の設置を見たるものに横濱、宮崎、廣島、岡山の四あり、更に本月十日を以て川俣町にも組織成らんとするありて、正義の聲は漸く全國に遍からんとす。又意を強ふするに足らずといふ可からず。殊に本春飛田遊廓設置問題の勃發せるに對して、猛然起ちたる吾徒の壯烈なる武者振りと、警視廳の遊廓擴張に對して高打したる警鐘の豪快なる響きとは、必ずしも會心の笑ひなきにあらず、其他地方的に起れる風教問題に對する各地會員の活動とは、時と共に次第に訓練され組織化されつゝあるを知る可く、吾人は玆に謹しんで會員諸君の本年度に於ける勞を謝し、其の健康を祝し、更に來る可き年の活躍を期せむ。

校長會議と體育

今回の全國師範學校長會議と實業學校長會議等に於て最も重要視されたるは學生の體育問題也。就中女子の體格に就ては深く憂慮し、體操時間の延長、專任教師の招聘等に就て協議したり。

然れども現今各種學校に課せられつゝある科目中、體操科程最も劣悪極まる

Digitized by Google

Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

ものはあらざらん。『前腕を平に動かせ』などいふ様なる柔軟體操の類は、すべて人間を機械視せる體育法にして人格を認めたる教育法といふ可からず、此の機械的教育がやがて機械的人生觀を作る譯にて、一方に精神教育問題に頭を惱ますが如きは自己矛盾の甚しきもの也。

元來此科を體操といふは名詮自稱言葉が既に誤りにして、操は卽ちあやつりと訓ず、されば體操とは體をあやつる義にて體を練るの意に非ず、畢竟學校にては身體操り科なるものを設けて每週幾時間か之を課し、更に之を重要視して今回延長を議す滑稽千萬の沙汰也。殊にしなを作りて頭の上に手を組んだり嫋々と腰をひねりたりなどする彼の女學生の身體操り科に至りては、抱腹の沙汰也。之を體育となすが如きは愚に非ずして何ぞや。惟ふに體育は遊戲と結びつくるを以て最も上策とす。興味を與へて之を促せば寧ろ其弊に苦しむ程、婦人と雖も四肢五體を最も活潑に運動し、緊張せる而して充實せる體育を得るは明か也。

校長會議と徳育

更に中學校長會議に於て深き注意を拂はれたる問題は、學生の精神教育問題也。教育家が時弊に目醒めて遲蒔ながら此種の問題を重要視するに至れるは喜ぶべき現象也。然れども彼等が男子の貞操教育をなす事に着眼し得ざりしは、彼等自身既に救はれざる可からざる人達なるが故にして、問題の核心に觸るゝは未だ遼遠なるべきを思ふ。

男女道徳を解せずして精神教育を語らんとするは、木に縁りて魚を求むるの類也。男女道徳は一切の道徳の大本にして人格養成の根底をなすべきもの也。『性』の倫理を說かずして青年に敎ふべきの何の道徳かある。婦人の人格の尊重すべきを知らずして何處に自己の人格の尊重あらん、自己の人格の尊重ある處、如何にして婦人の人格の侮蔑あらん。頃日千葉縣某中學が修學旅行の途次、引率者たる教諭某文學士は旅館の女中と同衾中刑事に臨檢せられて問題を惹起したりといふに非ずや。こは稍極端なる例に似たるも、修學旅行に當つて教師が匿れて旅亭に酒を酌み、或は旅館に醉倒して下婢に戲むるゝが如きは決して珍らしき現象といふを得ず、如斯にして何の修學旅行ぞや。何の精神教育ぞや。蓋し公等が擧つて廓淸會に入會を議決するの日、此問題の解決を見む也。

細見の發賣を禁ぜよ

近時社會の敗頽的傾向は、遊蕩文學を生み、猥褻出版を生み、秘密出版の激增となり、發賣禁止の數も頗る多數に上り居れるが、之れ等の出版物に對して內務省の取締は必ずしも緩慢なりといふを得ざれども、獨り廣告文に對しては殆んど寬假又は見落しつゝあるが如く察せらるゝは如何にや。試みに某々雜誌を繙き見よ、宛ら春畫にても賣るらんやうに思はるゝ廣告の、如何に多く如何に挑發的に記されつゝあるか。殊に吾人の最も奇怪となすは、今尙かの『吉原細見』と稱する、娼妓の身元調査等を揭げたる一種の賣淫廣告書の公刊發賣せられ居る事也。公娼の張店を禁じ、更に其バーをして路上より覗き見る能はざらしめし程の警視廳の一考を促す。（江南）

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

敬虔眞摯の生活

衆議院議長
廓清會々長　島田三郎

羅馬は伊太利の一部から起つて遂に天下を併呑して大國となつたものである。日本が武力を以て臺灣朝鮮を併せ、更に滿洲にも勢力を及ぼすに至つたのと稍似て居る。

此の羅馬勃興の時代に於ては、所々に樣々の神樣があつて土地が變れば從つてまた信仰が違つて居つた。羅馬が愈々勢力を得て四隣を併吞するに及んで、それが妙な現象を顯はして來たのである即ち羅馬は征服者であるから勿論被征服者の信ずる神樣を馬鹿にした。

けれども被征服者の信仰を破壞するといふ事は政治上から云つても具合が惡いから、羅馬人は一の領地を征服する每に其地の神樣を分捕して來て、羅馬の都に陳列したのであつた恰もそれは博物館に古物を並べたやうな譯であつた。

斯樣に神樣を並べて輕蔑した羅馬人は自ら神樣を輕蔑する習慣を養つて自己固有の羅馬人の神樣に迄も疑ひを懷かしむる原因となつた。これが羅馬人信仰動搖の始めで、被征服者も亦、分捕されて行くやうな神樣には次第に敬意を拂はなくなつて、敬虔眞摯の氣分は失はれ、遂に羅馬の天下を擧げて無宗教、無信仰の空氣に充さるゝことゝなつた。

歷史家の多くは『羅馬人の品行が崩れて羅馬が亡びたのだ』といふて居るが、更に一歩を進めて然らば何故羅馬の風紀が頽敗し羅馬人の品行が紊れ富を極度迄濫用するに至つたかといふ事になると、蓋し彼等の道德心、宗教心を滿足さすべき根底が亡びた爲めであると云はねばならぬ。舊き信仰亡びて新しき信仰未だ興らざる過渡時代に、羅馬人は一時其の立つ可き心の土臺を失つた爲めに、不知不識不道德となり、不道德の結果は一方に公共心が衰へ、他方には其身體も弱くなつて野蠻人と戰ふことさへ出來なくなり、遂に未開の民に亡ぼさるゝに至つたのである。

人一度び精神の快樂を失ひ肉體の快樂のみを追求するやうになれば羅馬人の如く學術も富も威力も之れを救ふことが出來なくなる。羅馬の文明は進んでゐたが、無信仰の狀態に陷つて道德の墮落甚しく、男女貞潔の思想地を拂つて、痴蝶狂蜂たゞ肉體の慾を土臺とするに至つた。一體人間の快樂は常に新しきもの、新しきものと追ひ求めて底止する處を知らない。豐太閤が榮耀榮華の極、之れに飽きて晚年茶道を樂しんだなども、此處の心理狀態を現したものである。羅馬の一貴族はあらゆる贅澤を仕盡した極、最早爲すべき樂みがないからといふので、妙なる音樂を奏でさせつゝ自ら動脈を切斷して自殺したのであるが、肉體上の快樂を追求するのは遂に悲劇に到達せざるを得ない。眞の幸福は敬虔眞摯なる生活の中から生るゝものたるを知らねばならぬ。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

自由戀愛を論ず

早稲田大學教授
廓清會副會長　安部磯雄

大杉榮といふ社會主義者がある、伊藤野枝といふ雜誌の主幹がある。大杉は歴乎とした妻を有つてゐる、市子は以前さる妻子ある男と既に浮名を流した女である。野枝は辻某といふ英語の先生と自由結婚をして子迄出來てゐる。然るに大杉と市子とは昨年からとか關係が出來た。其上先頃又もや野枝は男を棄てゝ乳吞子を抱へて大杉と同棲するに至つた。卽ち大杉を中心に正妻と此等二人の妾とが動物的の結合が成立つて、而も厚顔無恥得々と其關係や主張を述べたりしてゐた。此等の事に對して世間では可なり評判をしたり論難の的になつたりしたが、廓清會としては、これを問題にする事を辱として敢て書かなかつた。然るに此不平均なる不純なる愛の結合は市子の嫉妬の刄によつて忽ち破綻を暴露して了つた。男の愛の野枝に傾いて已れに薄く若しくば去らんとするに對して、市子は大杉の寢首を刺したのである男は幸に命は取りとめた、市子は今や獄裡にある。敎育ありて人格なき彼等の此悲劇を見るに及んでは、吾人はなほ之を犬猫の爭鬪視するを得ない。自由愛戀其者に對する生ける敎訓を發見し得るのではあるまいか敢て諸家の說を求めた所以である。（記者）

す少しく彼等の思想方面に入つて研究して見度いと思ふ。

それは自由戀愛といふことである。自由戀愛といふことに就いては、色々に人の意見が違つて居る。私も或意味に於て自由戀愛を平常から主張して居る者である。然し私の主張する自由戀愛なるものは、我々が配偶者を選ぶ場合の『撰擇の自由』といふことで、それ以外の自由を意味するものではない。卽ち一旦自由に撰擇して結婚した以上は、双方共に互に制限せられるべきものである。若し制限を超える時は自由は放縱に流れるから不可いといふのである。

□自由戀愛と自由撰擇

今日男子も婦人も、共に此自由戀愛主義を叫ぶのは、我國今日までの結婚制度に、配偶撰擇の自由が無かつたが爲めに起つた反抗の聲である。今までは多くの場合當人の意志に反しても、家庭の都合や身分の釣合ひなどの爲めに、親兄弟から無理矢理に强ゐられると、自分の意志に反した人とも結婚せなければならなかつた。だから色々の悲慘な事が茲に胚胎してゐた。

そして自覺した婦人が、驀地に此自由戀愛に向つて走つて行つたといふことは、男子よりも一層同情すべき理由がある

□我國新婦人界の不祥事

大杉對神近の殺傷事件は近頃の不祥事である。神近市子にしろ又伊藤野枝子にしろ今日の我國婦人界に在つては敎育もあり智識もあつて、日本婦人界の覺醒の爲めに大に働いて貰はねばならぬ人々である。此等の人々に依つて此不祥事を惹起したといふのは、此等の人々の爲めばかりでなく、我婦人界の爲めに最も悲しむべき現象であると謂はねばならぬ。私は茲で之を單なる殺傷事件とせ

と思ふ。何故かといふに、男子よりも婦人の方が今迄より多く、不自然の結婚を強ゐられて居たからである。これは私は何うしても改めねばならぬこと丶思ふ。尤も識者の中には、此古い結婚制度を改めることを、危ぶんで居る人もあるやうであるが、然し私は、假令いくらかの弊害を生じたとしても本人が自由意志で責任を持つて遣つた事は他人がかれこれ干渉すべきものではないと考へてゐるので私は多少の弊害を犧牲にしても、結婚制度は『撰擇の自由』といふ基礎の上に置くべきものであることを平生主張してゐる者である。

更に法律的に考へて見ると、此事は一層分明になつて來る。元來契約の自由といふことは、何處の國でも許されて居る。即ち商賣の取引や貸借の關係等は、全く我々の自由勝手である結婚も亦さうあるべきであつて、甲を選ぶにしろ、乙を選ぶにしろ、其處には必ず完全な自由がなければならぬからである。

□自由離婚の要求

私は、元來此處まで戀愛の自由を唱へて居るけれども、今の新しい人々殊に文學者等の中には、もう一歩進んで此自由戀愛を唱へて居る人もあるやうである。西洋ではフリー、ラブと稱して、之れを唱へて居る、即ち泰西に於ては撰擇の自由といふことは一般に認められて居るから、それは問題にする必要はないが、一旦結婚した後に、若し相方に戀愛がなくなれば、勝手に別れることが出來るといふ意味の自由を要求して居るのである。即ち戀愛のある間丈け夫婦關係を續けて、戀愛がなくなれば直ぐ其關係を解くといふ離婚自由の要求である何故斯麼主義が起るかと言へば、泰西では一度結婚すると法律上の壓迫から、離婚することが非常に六ケしいからである。日本では此離婚といふことについては法律上は今日でこそ六ケしくなつたが、昔は極々平氣に行はれてゐたものである。今日でも法律を潜つて行かうと思ふ者は、内縁の夫婦といふ習慣があるから、何時でも離婚は自由である。故に日本では西洋人の所謂フリー、ラブを唱へる必要はない筈である。が、要するに今日の新しい人々の自由戀愛論は、自由撰擇の上に更に一歩進んだ自由離婚論なのである。

□自由離婚を排す

私は大體に於て此離婚の自由といふことに贊成することは出來ない。隨つて泰西に於けるフリー、ラブには、今日まで一度も贊成を表したことはない。それには相當の理由がある。元來約束をするといふことは、これは双方の自由であるが、一旦約束をした以上は、其處に一つの束縛があることを考へねばならぬ。即ち何の方面でも一旦契約をした以上は勝手に破ることが出來ない。それが即ち束縛である。尤もフリー、ラブを主張する人は、双方が承諾をしたならば別れてもよいではないかと言ふ。然しそれは商賣上等の契約の場合にいはれることで、精神上の戀愛の方面では、なか〳〵さういふ風に行かない。夫婦共双方同時に愛情が無くなる場合もある事はあらう。然しさうでない場合もある。一方のみが愛情を失つた時は何うするか、此場合失つた方は、相手に對していやがらせをする事が出來る。而して相手の方も致方なしに離婚を承諾するといふことになる。此の事は日本では非常に多い。特に男が女に對して行ふ場合が多い。妻の方は其夫婦關係をまだ續けて行きたいのであるが夫の方で色々と酷いいやがらせをして、妻の方が辛抱しきれなく遂やむなく別れるといふことになるのである。夫婦兩方共に本當に滿足して別れるといふことは、西洋に於ても甚だ少い。これは形式上は自由離婚であるが、其實は極めて慘酷なる虐待である。これを法律上の言葉で言へば、何方か一方が先に故意に破りかけるのであるから、それはその相手に對して不都合であると言はねばならぬ。

こゝまで論議を推し詰めて來ると、私には事理は頗る明白となる。即ち我々は如何なる場合でも、決して他人に迷惑をかけてはいけない。感情を損ねてはいけない。利益を無視し

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

てはいけない。若したならば、私はそれを罪悪と認める。結婚の場合でも亦さうであつて、若し一旦結婚をした上で、相手に迷惑をかけ、其の感情を損ね、其利益を無視して、離婚しやうとするならば、それは全く許すべからざる罪悪である。一方が無理に破るとは猶更の事、假令相方合意の上といふてもそれは形式上丈で、本當に合意するとは六ケしいものであるから、私は飽くまで之に反對せねばならぬのである。

よしんば社會が進んで——理想的に進んで、假令無政府主義者の主張する如き理想の社會に進んでも、さういふ時代になればなる程、一方に法律的の制裁を受けない代りに、他方により多くの道徳上の制裁を受けねばならぬ。今日の道徳と其時の道徳とは違ふであらうが、他人に迷惑をかけない、他人の感情を損ねてはいけない、他人の利益を無視してはならないといふ道徳は、無政府主義の社會に於ては今日よりも一層必要であらねばならぬと思ふ。然らば即ち夫婦が双方合意の上で別れるといふことは事實六ケしく又何方かに多少の無理があるとすれば、夫婦別れといふことは、全然贊成の出來ないことである。

□一夫多妻と一婦多夫

議論は更に進んで第三段に行く、即ち第一段は撰擇の自由論で、第二段は離婚の自由論であつて、第三段は今これから說かうといふ所謂一夫多妻又は一婦多夫の場合である。即ち一人の男で數人の女と關係を有ち、一人の女で數人の男と關係を續けて行くといふ議論で、或種の人々は自由戀愛は此處まで進んで行かねばならぬと考へて居るやうである。此主張に就いて私は近頃の人々の說を研究して居らぬから、大膽には言へないが、歐米諸國の人々は、さういふ風に自由戀愛を解釋して居るとは思へない。即ち第二段の歐米人のフリー、ラブなる自由離婚の說は、其相手方は變つて行くけれども、其時のみは何處までも一夫一妻主義である。然るに第三段の一夫多妻又は一婦多夫の主義は、これは實際上行はれて居ることではなからうけれども、果して相當の學者として、何處までもこれがよい事だと信じて眞面目に唱へて居る人があるか何うか、私は甚だ怪しむのである。然し假令斯かる人があるにせよ無いにせよ、私の意見に毫も變りはない。

□戀愛は頒たれない

今回の大杉君の場合に就いては——即ち大杉君が三人の女と關係を持續したといふ事が世間に發表せられた時、私は果して實行出來得るや否や頗る六ケしいものであると考へた。これは何人に限らずさうであるが、大杉君の場合を例に取れば、大杉君は果して三人の女に對して皆相當の愛情を注いで行くことが出來るか、又三人の女に於ても、何等の不滿足をも感せずして其生活を續けて行けるか何うか、理論としては頗る自由で甚だ寛大のやうであるが、事實は困難至極であらうと思つて居た。噂によれば伊藤野枝といふ人が、一番解つて居るやうであるが「市子位いやな女はない」と言ふて居るところを見ると、これが事實上如何に困難至極のことであつたかゞ解る。然し此野枝の言ふたことが、當然のことであら

うと思ふ。元來此戀愛といふものが、さう理窟通りに平等に行けるものか何うか、頗る疑問である。下等動物の間ですらさう平等に行くといふことはない。彼等の間にさへ、一種の嫉妬がある。元來戀愛といふもの丶愉快なのは、心を一つに注ぐといふところにあるので、心がバラ〳〵に行つた場合には、其力が薄く、其幸福も少いのではなからうか。又戀愛其物の本質から考へて見ても、それが二三人の者に分たれ得るものか何うか、男の方に取つては、各の女に對して平等に愛情が行つた時は、其結果はよからうが、不平等に行つた結果は、遂に今回の如きことになるのである。要する一人の男の愛情は、一人の女に注ぐといふのが當然である。此意味に於て私は第二段のフリー、ラブに贊成する者でないが、只其時丈は一人の相手に其愛情の全部を注ぐといふには贊成する。

□婦人の向上と婦人の墮落

扨て茲に最後に述べて見たいと思ふことは第二段のフリーラブの場合に於て、男と女との立場が相違し、第三段の一夫多妻又は一婦多夫の場合に於て、男と女の立場が相違するといふことである。從つて其の男女の立場の相違は、茲に男女の利害得失幸不幸の相違を來すといふことである。卽ち私は今日自覺したといはれる新しい婦人が、此第二段及び第三段の主張をして居るとするならば、これは婦人自身に取つて非常に不利益な主張であると思ふ。何故といふに、今日は言ふまでもなく男が我儘の世の中、男性本位の社會であるから、第二段の場合に於て男の方に心變りをした場合には、前にも言ふたやうに、女に對していやがらせをして、別れるやうに仕向ける傾向を一層助長するといふことである。これには男と女と反對の場合もあるが、然しそれは極々少數で、今日のところ總て女の方が弱者の地位に立つて居る。第三段の場合に於て、例へば大杉君の場合、伊藤野枝がもう一人他に男を有つたとすれば、何うであるか。大杉君の主義として、それをいじめたりすることはないかも知れんが、果して今まで通りの純粹の愛情が注がれるか何うか？又例へば今日の如く男子が金を以て藝者を弄んで居る場合にあつても、自分が金でもどつさり與へて特別の關係を有つて居る藝者が、他の男に多くの愛情を注ぐといふ事を知ると、其の女がいやになるといふのが常である。大杉君の場合に於て、女の方から見れば、全く藝者のやうな位置に立たねばならぬ有樣である。これは全く彼女等に取つて馬鹿々々しい次第であらねばならぬ。最初高尙な戀愛の撰擇の自由から進んで、遂に藝者か淫賣婦のやうな處に移つて行くといふことは、婦人の爲めに甚だ悲しむべきことで、殊に智識ある婦人としては誠に歎ずべきことである。さうして其の結果が斯ういふ不祥事を見るに至つたといふのは、今後益々起らうとする我婦人界の爲めにも最も歎ずべきことである。

私は茲に要求する。我國今後の自覺した婦人は結婚に於ける撰擇の自由は、大いに之を主張して貰ひたい。然しながらこれと同時に其の撰擇の自由から更に進んで、フリー、ラブ或は一夫多妻、一婦多夫主義にまで進めば、それは婦人の向上でなくて、墮落であると考へて貰ひたいことである。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

自由戀愛の結論

『眞新婦人』主幹　西川文子

▼世間にありふれた事件▲

過日各新聞が筆を揃へて書いた大杉榮刃傷事件を、廓清會が此問題を重大なる社會の出來事として取扱ふといふやうな事であつたら、少しく大袈裟過ぎはせまいかと思はれぬでもない。何時の世でも兎角男女間に關する問題と謂へば、たとひ内容が何うであらうと、一向そんな事には頓着せず面白半分に騒ぎ立てるのが通例であるから、此度の事件杯もさういふ意味で、比較的智識階級者の間に起つた爲め端たなくも世の中の人達が騒ぎ立てたのであらう。さういふ見地から彼の事件の發生後度々、私の處へ該事件に關して何々の方面から觀た場合の感想等を問ひに來る方があつたけれど其都度彼の事件が如何にも簡單明瞭で世間に在り觸れてゐる珍しくも何でもないと思ふからさて、拒絶したやうな譯であつた。

・廓清會が此事件に關して批判するとすれば、それは只教育上より觀ての問題として取扱ふより他に方法がないと妾は信じてゐる。所謂自覺したといふ今日の青年男女間に於ける貞操の觀念が何うであるかといふ點と、又如何に教育ある婦人とても、男女間に關する問題は到底理論によつてのみ之れを處理解決し得ないといふ事を我々に教へるものではあるまいかとも見やうによつては取られぬでもない。社會一般の多くの人達は教育によつて男女子の人格が向上し、從來下級社會に觀る如き夫婦並に男女關係の面白からざる狀態が教育に依つて改善され進歩するであらうと信じて居つた。斯ういふ人達には今度の事件は何うしても看過ごす事の出來ない意義ある出來事であらうかと思はれる、

▼愛の平等均衡は不可能▲

併し彼等を尊敬し崇拜した人達が信ずるやうに、彼等如何に學識技能が凡人に優れて居つたからとて、眞の人格といふものが築かれて居らなかつた結果に違ひない。尤も或者は人格が嚴然と峙へて居たには居つたが最後の事件を惹起す前には、彼等の人格とか社會一般の人達が云ふ處の常識とかいふやうな者は缺如された事になつたといふが妥當かも知れぬ。結局は彼等自身の教育や又其他世俗より優れた思想を以つてしても、男女間の問題が其の力に依つて解決する事が能なかつたといふ。つまり世間一般の人達と殆ど此問題に就て變つた點がなかつたといふ結論に到着したものである。

世間には隨分大杉のやうな男も、又野枝子や市子のやうな考へを以つた女もあるであらう。併し大杉は從來我日本の男子が行り來つたやうな賣買戀愛といふやうな、本妻の外に妾を何人も金錢に依つて自由にする實行方法を、物質を全然度外し賣買戀愛を改めて眞の精神上に於ける多數の婦人を愛するといふ新しい考へを實行しやうとしたのであつたらしい。つまり精神上から三人の婦人を平等に愛するといふ事を實行

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

せんとした。而して實行し來つたが計らずも婦人の嫉妬心から思ひ掛けない災厄に會つたのである。茲に於て初めて大杉は從來の金錢卽ち物質上から一夫多妻主義を打破しやうとし自由戀愛より生れるたる一夫多妻主義が實行し得らるゝものでない事を覺つたに違ひない。彼の岩野泡鳴の關係は大杉の考へより幾分其間に區劃があつたやうである。同時に幾人かの婦人を愛するといふ事は出來ないといふやうに取られるが大杉のは飽く迄同時に平等といふ事を實行したから遂に悲劇を起す原因となつたものと觀る事が出來る。

▼婦人の敗北を意味した▲

元來大杉は非凡なる頭腦を持つた男であつたといふ評判である。兎もすると物事凡てが理論に趨つて、理論に依つて萬事解決される者であると信じた人であつたので、男女の問題殊に戀愛問題といふやうな事も理論詰めにして、物質上に於ける一夫多妻主義でなく眞の精神上に於てのみにて、實行し得るといふ事を理論から解決し、而して實行したものであつたらしい。或る學者の說に文明が進歩し人間が向上すれば漸次嫉妬心等が薄らいで行くものであるといふが、さういふ事が有り得べき者であるか妾は疑問にして居るから、此問題も矢張り婦人としての弱點を曝け出し遂に本音を吐いたものと思ふ。謂はゞ婦人の敗北した事を忌憚なく世間に暴露したやうな譯で、之れに就て何等我々が特に或る教訓も警告も受ける材料が存在するでなく、世に有り觸れた平凡な事件であつたに過ぎないと思ふ。

最後に妾は今日教育ある婦人、自ら自覺ありと天下に呼號する婦人の思想が如何なる點に於て自覺したのであるか、その點に着眼する價値がないかといふ事を考へたい。啻に大杉對係事件に於ける野枝子、市子の二人に對する許りでなく廣く世の婦人に自省して貰ひたい點である。又男子から觀ても自覺した婦人とは所謂牛獸的な婦人也といふ極めて簡單な解釋をされるやうな傾向を生みはせまいかと氣遣ふので妾自身としては勿論自覺した婦人が牛獸的な婦人ではないと思ふけれども、事實上に於て教育ある自覺せる婦人が只論理一方に趨つて最後の手段に於て無教育無自覺なる者と少しも異ならざる樣な行爲となるのは、實際上に於て教育の價値といふ、卽ち婦人に教育は必要なしといふやうな極端な考を持つて來るやうになりはしまいか。

尤も日本婦人が從來よりの男子の壓迫から自覺して眞に婦人の價値を認めさしたいといふ極端に傾いた爲め往々にして斯る突飛な考へを持つやうになつたのも從來の行懸上止むを得ない犧牲者として觀られぬでもないが、もう少し社會と連絡せる生活が出來なかつたかといふ事が彼等二人の婦人に對する妾の考へである。

餘りに社會を無視し自己主義に趨る結果は遂に自暴自棄に陷るもので、彼等二人も自己の滿足といふ以外に何等の望む所がなかつたらしい考へが既に間違ひであつた。就中市子の如きは前にも妻子ある男子に戀し其間何等かの紛爭を起して當時社會に發表されたが爲め、社會といふものを密接に關係しないやうな考へを持つに至つたのである。社會と遠ざかつた結果は遂に向ふ見ずの事をやつたものであらう、煎じ詰むれば此事件も極めて簡單な世に有り觸れた事で、要するに彼等の行爲が既に放縱なる生活上から出た、所謂家庭といふものを度外視し無暗に個人主義に趨つたが爲め計らずも市子の嫉妬心から悲慘事を惹起した迄で之れを廓清會の問題として取扱ひたくないと思ふ。

會告

會費未納の方に對しては、從來集金郵便に依り正會員費半年分宛金四十錢を頂戴して居りましたが、御承知の通り集金郵便料は受付の際一通に付三錢を要し其上送金料と拂出料とで二錢を要するので不在支拂拒絕等の場合は、其料金と其手數等を無駄になつて了ひまして、本部は非常な苦痛を感じます。就ては六年一月より郵便集金の際には其集金料實費五錢を附加して頂戴する事に致しますから、何卒御含み置きを願ひます。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

女子の愛は排他的

婦人の友主筆　羽仁もと子

□男は昔から自由戀愛者

世間の智識階級の人達が大分騷ぎ立てた大杉刄傷事件は、世間並の痴情の果として取扱はずに、現代の風教問題殊に男女間の問題が如何なる傾向を帶びて居るかを觀る、我々に取つては一の教材料として學ぶ所があると思ふ。

此事件の世間に發表されたのは彼の刄傷事件に依つて大杉の情夫神近市子の嫉妬心から計らずも無分別を敢てした事に依つて世間の多くの人は知つたのである。尤も神近市子が覺悟の前で爲した行爲にしても自分が初めから大杉を刄傷しやうとは思はなかつたであらうから、此事件に我々の學ぶ處の點は、世間の夫婦といふ者が其生活に滿足して居るであらうかといふ疑問である。男女相互に結婚生活其者が眞實滿足して居るかどうかといふ事を我々は考へて見なければならぬ。大杉事件が其問題を明らさまに我々の眼前へ提供して呉れたのではあるまいか。伊藤野枝子が先夫を捨てゝ歴乎とした妻のある大杉の許へ走つて行くといふ事は、勿論論ずるに足らずとしても、夫婦間の愛が誰も彼も結婚當時のやうにお互に純潔濃密である事が出來ず、つまり飽きが來るといふのは伊藤野枝子許りでなく、世間を見渡すと幾何もあるではなからうかと思はれるし又男子としてもさうである、大杉が妻以外に情婦を二人迄持つて行かねばならぬやうになつた其原因も矢張り先妻に飽きが來たからで、詰る處愛といふ者が集中しなかつた爲に、此事件が起きたものであると思ふ方が妥當な解釋ではあるまいか。

元來男子は古から自由戀愛者であつた。今日も尚此思想があるけれども、之れは何千年の昔から生理的の關係家庭の事情其他萬般の境遇の然らしめたものであつたのが、同時に幾人の女を愛する事も出來るし又其策が甚だ巧妙である。即ち本妻が整然とあり乍ら妾を幾人も蓄へ、別に何等の苦痛もなしに平氣で女を繰つて行くといふやうな事は男子の特點とも云はうか、婦人には到底其眞似は出來ぬ事であらうと思ふ。假りに一人の男が厭になつたからと云つて又別に他の男に戀愛する場合に、婦人にあつては必ず前の男と手を切るのが常である。嫌になつた男も前通りにし、又新しい男も同等に其外幾人も平等に何の苦痛もなく操る事は婦人にはどうしても出來ない藝當である。併し之れは婦人に取つての弱みであるやうにも見へるが、其實婦人の動かす可からざる一大美點であると思ふ。茲に女子の眞の美しい性格を認められるのであらう、が女子は何事によらず凡て消極的であるから其

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

樣な事でも大切取るのだと云はゞ謂へない事もないが、要するに婦人に此精神のあるのは大に美點である。野枝子にも矢張其點があつた。先夫を捨てゝ大杉と情交を敢てする時には前の男と手を切つて大杉を守つて居つたのである。併し斯る行爲をなすに就ては、充分野枝子自身に責任はあるが又大に同情してやらねばならぬ點がないでもない。何故かなれば野枝子の結婚其物が彼自身に於て滿足して居らなかつた事は實に氣の毒である。固々野枝子と辻との結婚は、自由戀愛上の結婚だから理解し合つた譯であつたから、いつか辻の缺點が現はれるに連れて、愛情が自然に消滅したのである。而して遂に社會から半獸的のもの、やうに想像されたのである。

□結婚の滿足と母の責任

斯く結婚生活が滿足でない場合には其處に種々なる事情が新に生れ社會からは物笑ひの種となり、又自分自身も其苦痛に惱まされる事になるが、さらば滿足なる結婚生活が如何にせば爲し得るであらうか。我々は此點に就て大に考へねばならぬ。男子が多くの情婦を弄び、又婦人が幾人の男に戀愛が遷り變つて行くやうな事のないやうにするには、如何すれば好いかは見逃す事の能ない問題である。

惟ふに之等の事件の内容は其人自分自身の人格の高低に依つて、左右されるものであらう。男女の關係が人格の上に論ぜられ又實行される時に於ては、輕々しい行動に出づ可き筈がない。人格を無視した半獸的な考へからは往々にして世間から兎や角論難せられるやうな事件が起るけれども、夫れが相互の夫婦間に於ける各自の人格が高くあつたならば、輕々しく男子が情夫を弄むだり又婦人が夫を捨てゝ、平氣で他の妻ある夫に戀するといふ樣な事がある可き道理がない。

互に人格を無視した結果は、如斯事件が惹起されるので決して事件其者が不思議でもなければ、又妙な面白い者でもない。當然の結果と判斷する事が出來る。故に此問題の根本は結婚生活に滿足してゐるや否やの點に存すると同時に、何故に結婚生活が滿足でなかつたかといふ事に歸する事だと思ふ。

人格の高低といふ事は隨分六ケ敷問題であるが、結婚上に現はれる人格といふ點に就ての妾の考へは、矢張り之れが養成の責任は母親に在るものだと思ふ。母親が子に對する責任を充分に完ふする事が出來、子が其母親より受くる教訓が眞に徹底して子の人格が築き上ぎられるならば、夫れこそ眞に人格の立派な人間が出來るのであるが、此點に就て從來子の發育方法に、缺點がありはしまいかと思ふ。從來の母親が子に對する凡ての行動は一定の型に押込めやうとする傾向がある。自分自身の考へで子供の意志といふ者を全然認めなかつた。だから無理矢理に母親が子の嫌がる物事を押付けて自然に型へ嵌めたが、妾の考へとしては子供自身に取つても氣の毒な事であり、且又母親の子に對する責任といふ者はさうではないだらうと思ふ。つまり母としての責止を充分盡す處は盡し、子としては自分自身の爲めになるやうな事に成可く干涉せないやうにするが大切である。

家庭に在つての物事を無暗に壓迫せないで、自發的にやらせるやうにしたい。で子供自身の判らない處、卽ち經驗が淺い無能力者であるから夫れに對しては、經驗に富んで居る母親が充分自分の經驗を以て敎へ諭す樣にしたい。結局母親は、母親としての責任を充分盡し、子供自身に於て大に努力し身の行く末を考へるやうにさせたいものである。之れをもつと判り易く謂へば母は母としての子に對する務めを盡すから、偉くなるのはお前自身の考へで爲せといふ樣に子供の時から自分の責任といふ事に就て充分考へを持たせたい。さすれば凡ての事が皆自分自身で自然物事を深刻に考へ輕々しい行動に出るやうな事がなくなると思ふ。

□責任觀念と結婚の基礎

其處で初めて健全なる男女交際が行はれ、今日の如き青年男女の間が紊れて來たといふやうな非難を受ける事もなくな

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

るであらうし、又結婚の場合に於ても自分の責任なるが故充分考へて實行する事になるのである。充分考へて之れが幸福であると、責任を持つた同志の結婚は假令、後で互に缺點が現はれて、嫌になるやうな傾向が生じたりとするも夫れは固々自分自身の責任であるから、自由戀愛の樣に無茶苦茶に離合するやうな行動にはならない。結婚は本人の自由意志を基礎とせなければならぬものであるが、併し乍ら自由戀愛であつてはならない。相互の人格を根據とした責任ある結合でなくてはならない。趣味とか愛のみによる結婚はお互に自分の行爲に責任を感じない、趣味が去れば即ち離れ、愛を失へば即ち路傍の人となる、殊に子に對する責任を少しも感じないやうな點がある。若しありとするも夫れは子の愛で、眞に子に對する責任といふやうな考へが出て來ない。

野枝子が丁度其の張本人である、自由戀愛を實行した彼は子に對する責任といふ者を自覺しなかつた。辻との間に生れた子が、何の樣な事にならうと、夫れは一向に頓着しない。子供を養育するに不適當、殊に母親の手に依つて養育さる可き天理である處の、乳呑兒迄も振り捨て丶家庭から遁れ去る彼には、只自分の意志の自由のみを尊重し何等社會並に家庭に對する責任はないと考へたらしい。妾の考へは或者から評せば洵に古臭いかも知れぬが、家庭といふ立場といひ、人間の幸福を望む理想から申せば野枝子の考へから現はれた行爲が余りに無自覺過ぎる、半獸的な仕業であると謂へば言はれぬ限りもない突飛な業に驚かざるを得ない。殊に我日本婦人に於て最も自覺したる新しき女を以つて自ら任じ居る彼が行爲は、實に無學無智な婦女子にも劣る可き亂暴なる仕打ちであつたと思ふのである。

斯く子に對する責任迄も持たぬ婦人が新しき醒めたる婦人で、之れが模範とすべき者だと社會が眞に感じなくも斯る思想が一部社會にでも流れて居るとすれば、夫れは容易ならぬ事で、女子教育の根本を改革しなければならぬやうな事になりはせまいか。世間には夫婦の間が仲惡く何時も喧嘩の絶間がない家庭でも、子供の愛に引かされて遂一生涯自分の身を捨て丶迄も子供の爲めに盡した人がある、今日演劇とか或は講談とか、いくらも其樣な例を見る事が出來る。夫が目に一丁字なき裏長屋のお内儀さんさへ、子供に對する責任を(無自覺だから杯と嘲る人もあるが)持つて居るのに、相當の敎育ある社會に模範を垂るべき智識階級の急進派の人自身が無爲の人よりも尚數等劣る行爲を平然として行ふといふ事は餘りに言語道斷の沙汰である。

□結婚制度の改善

假令理論は何樣であつても親が子に對する責任と云ふものは、遁れる事は出來ないものである事は動物の本性で、萬物の靈長たる人間のみは子に對する責任が無いとは謂はれぬ。殊に母は子を生み育てる可き使命を天から與へられて居る、誰が何樣な理屈を附けても、我々か一寸考へても判る話である。だから子供が生れ丶ば母親は殊に子に對しての責任が一層重いやうに感ぜられる、母親は主として兒に乳を呑ませ養育さすべき義務があるのみならず、精神上に於ける飢渇も

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

同時に與へてやらねばならない。野枝子の仕打は泣く兒に乳を呑ませぬ罪は勿論の事、精神上に飢えて居る子供に精神の糧を與へてやらぬ譯である。自由戀愛の缺點が茲に遺憾なく暴露されて居るのである、妾は如何しても自由戀愛其者が既に一種變體なものであるといふ事を考へたくなるのである。

□夫婦相互の修養が必要

要するに夫婦間に於て相互に圓滿なる家庭を形作つて、其間に風波を起す事なく生活しつゝありやに至つて、眞實にお互の人格基礎から相睦しく暮して行く人達が多いであらか。妾は此點に就て少しく疑問を挾まずには居られない。何故かなれば茲に言つたやうに自分自身の幸福となる可き人格から結婚したのでなくして、媒酌人から世話せられた所謂盧僞の人格を聞き双方相共に責任のある結婚でないから、到底夫れが自然に離別の兆しが現はれて遂に夫婦別れを演ずるやうになるといふ事は當然である。今日之等の缺陥を充す一方法としては夫婦互に内省するに努めて貰ひ度い、常に自個自身を豐富にし夫は妻を引き附ける人格あり妻は夫を引き付ける人格あり、お互に人格の上より絶えず内省する處に眞の吾が生れ出づる者である事を信ずる。從來の妻は夫が如何なる不品行をしても夫れを嫉妬するのは妻としての大なる恥辱と思つて居た。それが永い間の習慣となつて今日でも夫等の煩悶が一部社會に貽つて居る。夫が夜遲く歸ればそれ迄整然と寢ずに待つて居た。といふのは畢竟同情を得んが爲めのやうであつた。併し夫れでは眞の夫婦の結合ではない。だから此思想から自覺した今日の新しい婦人は極端に趨つたのであつた。大杉事件も其犧牲である。彼等自由戀愛主義はお互に實行し得なかつた。彼等は遂に世間の物笑いの種となり了つて仕舞つたのである。何うしても完全なる結婚を望むのには矢張人格上からの結合であつて欲しいと思ふ。而して人間は自然と飽き易い性質を持つて居るから夫婦間お互に自分の眞を豐富にして行く事が必要である。

最近の廓清運動

隆之助生

□安部副會長の西下

安部副會長は地方講演の爲め十月下旬出發、卅一日京都支部、十一月一日大阪支部、二日神戸支部、同日午後堺市、三日再び大阪に各地とも青年會館又は教會等で講演を試みられたが各地とも滿員の盛況の有樣であつたさうである。而して聽衆に多大の感動を與へた事は言ふ迄もなく其後該地方より續々入會申込者のあるを見ても如何に先生の熱心なる講演であつたかを察する事が出來るのである。

□岡山支部發會式擧行

岡山支部創設委員小川列三郎氏は、過般來各方面に互つて之れが運動中であつたが安部副會長の西下を機として愈々十月廿九日發會式を擧行された。現在會員は廿八名であるが、追々増加しつゝある當分假事務所を岡山市大字内山下十八番地小川列三郎氏方に置き諸般の事務を執る筈に決定した。

□本部理事會開催

廿六日午後六時半より衆議院議長官舍に於て、理事會を開き今後の運動方針等に就て協議を爲したるが、當日の出席役員は左の如くであつた

島田 三郎　安部 磯雄　矢島 楫子　内ヶ崎作三郎
伊藤富士雄、山本 邦之助　益富 政助　西村 勘之助
伊藤 秀吉

□群馬支部大會

曩て今夏來度々評議員會等を開催して、種々協議する處があつた群馬縣に於ける運動は、愈々着手するの運びに至り十二月三日前橋支部に於て、評議員會閉催直に第一回大演説會を爲す筈であるが當日は本部より島田會長、宮田理事、伊藤主事の三氏出張、評議員會に出席し、大會には講演を爲す事に決定して居る。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

運命と禍福

農學博士
法學博士　新渡戸稲造

運命とはどんなものか

此世の中に何が恐ろしいと云つても運命程恐ろしい者はないと思ふ人達が多いけれども、科學が進むに連れ今日では、運命といふ者があるかどうかと疑念を懐く人があるやうになつて來た。即ち運命を開拓する抔といふ人達がそれである。併し運命を自分が或る程度は開拓する事が出來得るとしても、それが果して自分が開拓する目的の運命に到達せらるゝかどうかは疑問である。運命が我々を支配するかは判らないけれども、兎に角夫れを恐れる丈其の計り知る可からざる或る偉大なる者である事は何う考へて見てもさうであると思ふ。殊に婦人に取つては運命がないものだ抔と云ひ得られないに違ひない。多くの婦人が此運命に恐れて居るのも當然の話であると思ふ。

借て其運命とは一體什麽ものか。運命といふ二字を解釋して見ると運の字は軍隊が走る形であつて、我々個人の力では到底其勢に當る事の出來ない、偉い勢力のある恐ろしもの、命とは命令の命で絶體に我々が服從しなければならないものである。之れを綜合して見ると或る偉大なる勢力に從ふといふ事が運命といふ事が出來る。で此運命が年百年中グル／＼廻轉して居るが爲め、時としては誤つて悲運に打突つた人が即ち運命に捕はれた者になる、反對に良い運命に打突つた人は即ち思ひ掛けない幸福を得られた者であるといふ事になるのである。

運命の範圍が狹くなる

假令へば茲に一人車夫が毎日一圓五十錢宛の貨金を取つて來るものとすれば、其得た一圓五十錢の貨金は當然な貨金で運といふ者を感じない。が偶々假に二圓得たとすれば其車夫は、必ずあア！今日は洵に運の良い日だつたと喜ぶに違ひない。だから少しも豫想しなかつた五十錢の金が得られたといふ事が運の良い日であるとすれば、思ひ掛けない幸福を得られたといふ事が、即ち運の良かつた事で、運は人の動以外のものである事が判る運命の恐ろしい事も知れる。けれどもそれは勿論婦人許りではない、凡ての物皆此運命に依つて左右されて居るのである。

さういふ恐しい運命が科學の進歩に依つて漸次一部分宛を刪り取つて來る、此間流行した虎疫等も昔は隨分此病氣に罹つて運命の惡い人が多くあつた。當時之れをコロリと云つて誰も彼も此病氣に罹つたら最後コロリ／＼と參つたといふが文明の有難さは其麼惡ろしい惡運である筈の病氣が或程度迄之れを防ぐ事が能るやうになり、且又天氣豫報の如きも明日は晴天かそれとも曇天か雨天かを觀測する事が出來るやうに、凡ての物象が人の智識に據つて運命の範圍といふ者を狹く縮めて來たのは事實である。社會の進歩は斯くて運命の恐ろしさが追々減つて來るのである。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

運命は空想家に着惑ふ

偖婦人の運命と云へば始終泣いて居る事のやうに考へるであらうが、それは甚だ間違つた考へであつて決して其麽なのである可き筈がない。併し何と云つても婦人には、運命といふ言葉が何うしても泣いて居るやうにしか考へられないさうであるが、智識の力に依つて運命は辛ひ者ではないといふ考へにする事が能る私は茲が運命に對する考へ方の肝腎な處ではあるまいかと、皆さんに問ひ度い點なのである。

先づ娘さんが之れからお嫁に行くさすれば、一體自分は何麽處へ行くだらうか、若しや行く先に意地の惡い姑が居ないだらうか、又は夫が立派な人格であつて欲しい、さもなくば到底幸福な家庭に生活して行く事が能ないであらうさいふやうな事に就て考へない若い婦人があるであらうか。男子にも矢張其考へはあるけれども婦人は倘一層、痛切に取り越し苦勞をして居る事ではあるまいかさ思ふ。其考へは惡い事ではないがなるべくなら考へない方が良い思ふ。

悲運と知りつゝ陥る人

何故なれば婦人自身が想像するやうな敎育ある、物質の豐富な、家族に何等累のない、而して自分を最愛する男子の處へ嫁に行けば、自分の運は良いと思ふとすれば、それは飛んでもない事で、決して其麽男子が多くある可き筈がない。理想としては至極結構に相違ないけれども、其處に悲むべき運命が存在する所以であると思ふ。從來媒酌人といふが中へ立つて双方に嘘八百を並べ立て、旨い事を云つて結婚の紹介をして居る。夫れが爲め遂惡運の車に乘る事になつて後悔し茲に於て初めて運命は泣き暮すものであるといふやうな考へを起して來るのである。私の友人達も其車に乘つた者がある又さういふ破目に陥つた婦人を私は多く知つて居るが、夫等は餘りに自分の理想が高過ぎたからである。だから理想が高いといふ事は要するに其人は小馬鹿であるといふ事を證明するやうになる。一寸或る男子の樣子を觀て彼の人は樣子が良いから抔と自分自ら惡運を望むで行くやうなものだ。自分の力で其樣な事は豫防する事が出來る筈なのに、見すく惡運命に陥るのを知り乍ら、其穴に入つて行くといふことは情ない話である。從來の婦人は之れが爲め隨分泣きの涙で一生を終つた人達が數へ切れぬ程あつた事を數多く聞いて居る。

悲運にある人を救ふ道

尤も根本問題に觸れゝば女性に對する敎育の光を與へぬさいふやうな缺點さ、男女問題に對する思慮が皆無だつたから、男子が少し親切であれば急ぐ參つて了ふ樣になるので、さういふ境遇の間に育てられた婦人に意志の健全な者がある可き道理がない。世の中の馬鹿娘さなるのも當然の結果である。斯る場合に於て親たる者は只單に自業自得として打棄てゝ了ふやうな事でなく、運命の辛い處へ大に同情して救ひ出して遣らねばならぬ事ではあるまいか。啻に親許りでなく又友人さしても大に慰問して遣る事が必要である。返すくも自分自身が勝手に運命の範圍を態々廣くして身を引かれて惱んで居るのだからさいふのでなく、何處迄も慰めてやるやうにしたい。

併し夫れが只同情の涙許りでは不可ぬ。つまり共に泣くといふ消極的の同情でなく、其人自身の爲めに其悲運の境遇から何うしたら幸運に到る事が能るであらうか、丁度壺の中に落ちた人を救ひ上げ出すやうに考へて遣らねばならぬ。併し大抵婦人はさうでなく共に泣き叫ぶといふやうである。夫れでは本人の身になつて考へれば妾にも同情の涙を持つ朋友が居るさいふホンの氣慰めに過ぎない。私は此場

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

合にはあなたが今思ふて居る事は、見様に依つては悲運でない事になるからさて考への違つてゐる其立脚地をよく諭して遣りたいものだと思ふ。而して悲運を幸運に考へ直すやうに促したらどうかといふのである。

運命は心で變化する者

私が歐米に於ける農事狀況視察の際、英領加奈陀の片田舎へ行つた事があつた。其日は非常に雨降りで其惡路と云つたら驚く程であつた。すると向ふから百姓が、多量の野菜物を荷馬車に積んで、衣服をまるで泥だらけにしてやつ來た。其時私は實に氣の毒に思つた。此の天氣の惡いのにと實に同情せずには居られなかつた。で側へ接近して來た時に洵にお氣の毒な道ですなといふと、百姓は意外にも嬉しさうに笑ひ乍ら「いや之れで來年の麥も豐作だ」と一向惡路杯は氣が付かぬやうにさつさと行つて了つた。私は此言葉に少からず驚いた。といふのは私に取つてはお氣の毒に見へたのであるが、百姓彼自身に取つては、天氣が惡い處か土地を軟かにし何作でも上出來だといふ望みが現在の苦痛を打消して居るといふ事に自分は氣が付かなかつた事と感じた時、私は成程と首肯を禁じ得なかつた事があつた。斯く考へやうに依つては運命がどうにもなるのである。

3—984

男爵夫人より水飲百姓

立派な人並に優れた衣服を着て居る身分の人達でも其内裏へ奥深く突込んで見れば、其處には意外の事情が蟠まり涙の爲めに何れ丈の衣服を消費したか判らぬやうな婦人が居る。だからたとひ如何に人目から見て氣の毒のやうに感じられても、自分の考へで運命の場面を狹くした車に乘つてゐれば、さう人が思ふ程苦痛を感じないで濟むといふ事を忘れてはならぬ。呉れ〳〵も美服を纏ふて泣き暮すよりも假令田舍の水呑百姓でも、自分の心が常に薄暗い室を照し嫁が居なければ家庭が晴々しくないといふに至つて、初めて婦人の偉い處が顯はれるのであると思ふ。夫が妾に會ふと疲勞が急に癒つたり姑が嫁の話杯を愉快に聞くといふ處に婦人の眞の幸福があるのではあるまいか

婦人は幸福であるもの

要するに運命といふ者は自分が期待する事が出來ないものであるけれども、自分の希望する處の運命が少ないならば、運命の範圍も狹いから激しい悲運に陷らずに濟む譯である。其反對に希望する範圍が廣ければ廣い丈け悲運に陷つた時の場合に大なる落膽があるもので、彼の人は運が惡いといふ他人の運命に對する推量は茲に於て案外駄目なものである事が判る。運命を考へるならば何うしても茲に其着眼點があつた欲しい、さうすれば他人が如何に持囃れても何でも、人は自由勝手にいくらでもやつた方が良い。妾は妾として何でも自分の品質をよくする事に努めるからと、期待する處が少く考へて貰いたい、さうすれば何事も凡て幸運となる譯である。婦人の眞の幸福といふ點に至つては男子に杯が到底窺ひ知る事も能ない樂しい點が多くあるのであるから、婦人の運命といふ事は矢張り餘りに理想に趨り過ぎるといふ事は少しく考へたい點であると思ふ。

●米國最初の婦人代議士　米國でに婦人參政權運動の熾烈なりし効果現れ、今度の選擧でランキン女史を下院に送ることゝなつたが過般市俄高で世界の婦人政黨發會式を擧げた當時の光景が米國新聞に出て居る、會場に集つた婦人政客は一萬五千と算せられマベルヴアーン孃は演壇に現れて「妾等は米國憲法の修正を目的とするものであります、米國國民の選擧權は「性」の如何に因るものではない、妾等は飽迄も米國婦人の參政を期します」と男性も及ばぬ大氣焰を吐き、滿場破るゝ許りの喝采裡に盛んなる示威運動をやつた。

現代婦人の體格

醫學士 高田他家雄

□結核菌に喰付かれ易い體質

「彼の人は半鐘泥棒のやうだ」とは丈の高い人だ、といふ惡戯半分の言葉である。隨分皮肉な批評だけれども面白く例へて居るが、同じ丈の高い中にもそれ相當に肉が付いて居れば、餘り見苦しくもないがスラ〳〵として俗にいふヒヨロ長いのは洵に釣合の取れぬ者である。それも只不格好だといふだけなら何事も心配する必要はないけれども、困った事には斯ういふ體質には、嫌な病魔に明れ暮れとなく隙を覗つて居られから危險千萬な話である。其の惡魔とは何か。眼に見えない結核菌である。結核菌と云へば其の種類も却々數が多い、が其中で一番恐ろしいものは肺結核菌といふ耳にするとへ悚とする樣な病菌で、此病菌が最も瘠せた體質を好くのだから堪まらないのである勿論頑丈な體質を備へた人にも、元來が肉眼を以て見る事の出來ない黴菌の事故常に肺の中へ、出たり入つたりはするが、併し喰付かれるやうな事は少ない。尤も多少の例外はないでもないが大抵は肺の活動に恐れて參つて了ふ。

□婦人の厄年は十七と卅一

近頃我國の青年男女、殊に青年女子が此の黴菌に喰ひ殺されるといふ慘狀を呈して來たのは、容易ならぬ譯で遺憾現象が益々殖えるやうな傾向があるといふに至つては、人類興亡に關する極めて重大問題たるは謂ふ迄もない話である。明治三十二年から三十六年迄の五ヶ年間に於ける男女死亡率は、女子は二歳から四十歳の間で死ぬ數が男子の死亡率より一人二分六厘だけ多い。で之れは平均率であるが殊に十七歳と三十一歳の年に於てはとりわけ多く死ぬといふ事であつたのだ。今日と雖も之の現象は矢張り同じで、此意味からいふと女子の厄年は十九歳と三十三歳でなくて十七と卅一歳が厄年といふ方が、適當して居る樣に考へられる。つまり厄年が二年宛早くなつた譯である。然し乍ら四十三歳以上になつてからは、それと反對に男子の死亡率が高くなつて來て、男女死亡率が全く平均されるのは、四十二歳の時であるといふ事になつて居る。

□肺病で死亡する數は世界一

面倒臭い統計數を避けて成るべく平易に話しますと、斯く十七歳＝卅一歳の間の青年女子がバタ〳〵倒れるといふやうな現象は、全世界に於いて餘り見られない事で、只伊太利と墺太利の二ヶ國が我國と略々似て居るけれども、これとて日本よりは多くないので世界中で一番青年女子の死亡率の高いのは印度であるが、其次に位するのは悲しい哉六大強國と唱へ、文明國を以て任ずる我日本なのである。然らば何故さう我國の女子が世界中餘り見られぬ程多く死ぬのであらうか。それは却々面白い研究であり、我國消長の問題であると思ふ。普通人が一寸考へると十七歳以上三十一歳以下といふ年齡から推側して、其の原因は多分姙娠又は分娩から來る死亡だと考へられるが、決して其事のみに依る原因ではないので、大多數は肺結核といふ病氣の爲めに倒れるのである。此病氣は何れの國にもあるけれども、我國の女子程多く倒される國はないのであつて、今後益々殖える傾のあるといふ事は實に悲觀すべき點であらうと思ふ。

□現代の青年女子の體質如何

我國の今日では青年女子の體質を觀るといふ事は、只女學校のみでやつて居る事であるから、正確な統計は見られぬけれども、夫等の實績上から今日の青年女子の體質を見ると、年々丈が高くなつて來る傾向がある。そしてそれと同時に亦肉付が漸次惡くなつて來て、所謂ヒヨロ高い體質の者が多くなつて、肺結核に冐され容い事になつたといふ悲觀すべき傾向を示して來た。洵に困つて事であつて、そんな體質になつて來たといふ原因には種々擧ぐべき事はあるが、要するは社會の趨勢の然らしむる處であると感ぜざるを得ない。女は太つた體質よりは細いスラリとした方が

美人だといふ社會の美人の標準が頗る惡い原因となつて居る事は爭はれない事ではあるが、他の大なる原因はつまり營養不良、運動不足といふのである。肺結核の豫防許りでなく營養と運動といふ事は極めて大切なものである。常に身體の强健が何より肝腎であるといふこゝである。其意味から丈のヒョロ高い體質を持つた人は病氣に犯され易く、それに引替へ頑丈な體質の人は病氣を伏して了ふといふ譯になるのである。今日の女子が肉付がなく矢鱈にヒョロ長いといふのは實に情ない事と云はればならない。

されば今日の如き日陰に發育した草木のやうでなく頑丈な體質とするには何うするか。

□體質を優秀ならしむる方法

それは前に言つた營養と運動との兩方面から體質の發達を圖るより他に方法はないのであるが、今日營養と云へば滋養分を採るといふ事と大抵相場が極つて居る。けれども之れは惡い事ではないが、牛肉鷄卵といふ樣な食物を聯想するのは考へもので、勿論夫れとて滋養にはなるが、夫等は其の分量に於て少量であつたらさう大した効果のあるものではない。例へ少量の滋養物を取つて居て、さも身體が太りさうに考へられるのは間違つて居ると云はればならぬ。滋養分を取るよりも寧ろ胃の働に依つて滋養分にする方が良方法であり、身體の壯健にする最善の道である。

□家庭の運動不足が最大原因

次に運動であるが之も現代に於ける運動に對する考へが間違つて居る、例へばテニス、ピンポン、體操杯といふ事のみが運動で其他は運動でないやうな考へを持つて居る。そこで男子は知らず〱自然の運動をして居るから良いが、女子になると自然の運動といふ事が男子より少ないので、運動が益々不足になり「妾運動不足で瘠せたわ」といふやうな事を謂つて居る。之れが誤れるの甚だしい原因である。今の如き劣惡なる女子の體質も其邊から來て居るのではあるまいか。文明の今日となつて家庭に於ける女子の働く仕事は漸次樂になつて來た。第一炊事といふ方面から考へても昔と今は大に其差がある。電氣、瓦斯殊に水道の如きに至つては女子の體質上に一大關係を持つて居る。凡て物事が簡單になつた其上僅か數丁の道でさへ、直ぐ電車に乘るといふ、極めて病人的行動を取つて居るから、女子の體質が惡くなるのも無理からぬ話である。私は運動といふ者が學校に於ける體操又は遊戯等でなく、日常の行動が大なる運動といふ意味であるべきものだと思ふ、今日の運動の言葉を誤解せぬやうにして欲しいものである。

□獨逸の婦人は粗食して肥る

斯く働く事は頓て食物の消化力をよくし、隨つて身體の强健といふ事になる。農業者が粗食して居てさへ彼の樣な質體を備へて居るのは運動のよろしきを得て居るからである。徒に滋養分の屋外運動のと騷ぐ人逹に身體の强健を見ないのは、考へて見ると氣の毒であり亦滑稽の沙汰であると比判せざるを得ない。今後に於ける青年女子は大に此邊に注目して、戰々競々する事なく充分に大食して、大に運動して欲しいと思ふ。私が獨逸に留學中第一に我國の女子と反對なる彼の國の女子の體質を見た時に、今日の隆盛の然らしむるも亦宜なりと感心した事がある。それは獨逸の婦人には肥滿病といふ、身體が肥え過ぎて困るといふので、我國にも稀れには見るが併し獨逸程ではない。そして身體の不自由を避けんが爲め溫泉に行つて入浴して居る者が仲々多い。何故そんなに肥えるであらうか。

□粗食してウンと働くが理想

それは滋養分を多く攝取するからだと考へる人もあらうが決してさうではない。常に粗食をなして居るけれども運動が盛んな爲めで其運動も矢張り屋外運動とテニス、遊戯等の種類でなく家庭にあつてもよく働くからである。斯樣に粗食しても働く事さへしつかりやれば體質の强壯を得る事が出來るのであるから慄々し乍ら形式計の滋養分を攝つて働かぬよりは、粗食をウンと攝つてよく働く事が何より大切な事で、今日の女學生が辨當箱の小さいのを巾にするやうな風を打破し、電車に乘るといふやうな事は、可成遠道の場合の外乘らないやうにして、少しづゝでも身體を動す事が何より大切な事である。又は乘物杯許りでなく、凡て運動といふ方面から觀てよろしくないから、時間のゆるす限り出來得るだけ排するやうにして大きな辨當箱を抱へて大道を濶步する位にならなければ女子體質を今日より救ひ出す事は出來るものでないのである。と云つてお轉婆的の女子の出る事を望むのではない、成可皆がさうありたい者だと冀ふのである。而して其結果は質體に良影響を及ぼし今日の悲觀狀態より救ひ出す事が出來ると思ふ、今日の美人の標準が身體の纖弱を以て第一要素とする事は洵に困つた事である。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

女學生の宗教觀

內閣統計局統計官 横山雅男

余は前號に於て大阪府立清水谷高等女學校生徒五百人に對する倫理觀を統計上から述べた。今度は同樣に宗教觀を研究して見たいと思ふ。矢張り生徒の數、答案の求め方、答案を認める時間等は倫理に關する問題と凡て同じ方法に依つて得たものである。

□　□　□

最初は生徒の家族は何宗教なるか、併し自分は夫れに嫌たらずとせば、何宗教を求めるか、といふ問である。表中世間で餘り重要視されない天滿宮といふのは土地が大阪丈に名高い北野天滿宮があるから、現はれた面白い結果である。

教派	家族	本人
神道	二一	三五
眞宗	一二八	七一
日蓮宗	四五	二四
一向宗	四	二
禪宗	二〇	一〇
浄土宗	七	六
天滿宮	三四	一九
基督教	一	二
不明	一	｜

右は現代に於ける最も世に知れ亙つてゐる宗教であるが、此答案を神、佛、基の三大別に分くれば佛教が大多數である中に就て我々の意想外な點は神道と天滿宮を信仰する者が多いといふ現象で、神道に於て十點を超過してゐるといふ事は近來注目すべき價値のある點ではあるまいか併し北野の天滿宮が如何に有名であらうとも斯る多數が信仰してゐるといふ事は我々が考へ及ばない點であつた。世の宗教研究家や、又智識階級の人達が想像するやうな、權威も又價値もなかるべき天滿宮が意外の信仰者がある所以のものは宗教といふ者は只理論一片に據つて人心を滿足せしむ可き者でなく、如何に智識があり教育ある人と雖も信仰といふ事態が、容易に理論に據て左右し得る者でない事を證明して居ると觀られぬでもないけれども、女學生自身には其數が減じて居る。何ういふ譯で減ずるのか玆にも研究すべき價値があるのではなからうか。

□　□　□

佛教が我國に永い歷史を有つて津々浦々に到る迄行き亙つて、最も多數の信仰者を有して居る事はいふ迄もない如何に基督教の盛んなる土地でも此影響は容易に突き崩せさうに見へない。此表に現はれた處に依つても家族の部で基督教一に對した佛教が二〇四の多きを見、又本人の部に於ても一一に對する一一三の割合を示して居る。併し其內にも佛教が減ずるに反し基督教が增すといふ傾向のあるのは爭はれぬ事實である。余は宗教家ではないから佛耶兩教の優劣を論じやうとは思はないから、玆には只單に表に現れた丈を報告する事にした。尙更此一校の生徒の數の上に現れた丈では確でないから。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

3－988

次は神佛は如何なる靈能を有するか、といふ問に對し靈驗の有無に類別すれば

	一年	二年	三年	四年	平均
有靈能	七六	九〇	九二	五七	七九
無靈能	九	六	六	三九	一五
不明	一五	四	二	四	六

茲では靈能ありと信ずる者が一學年より三學年迄漸次增加して來つたが、四學年になつて急轉直下殆んど半數に減じて了つた。其に引替へ靈能なしとする者は三學年迄は少數であつたが、四學年に於て急激に增加した。之れは理智の發達から靈能といふやうな其樣馬鹿氣た話がある者かと覺つた者と見える。併し半數以上は靈能ありとして動かない現象を示してゐるけれども四學年以上の學制があると假定すれば尙減じて行くものと思はれる。けれども此表に於ける靈能は何の靈能であるか不明である、神であるか佛の靈であるかは到底此表に現はれた數字に依つて窺ひ知る事が出來ないのである。

□　□　□

人間の靈は何處に居るか、といふ問を出したが、之れは隨分六つ敷問題である

	一年	二年	三年	四年	平均
消滅	二四	二七	二九	五二	三三
永存	二一	二五	三〇	二一	二五
淨土天國	一七	二一	一八	五	一五
輪廻	一六	八	一二	七	一〇
家内墓下	一〇	二	五	二	七
不明	一二	八	七	一二	一〇

之れに依つて得た結論は靈は消滅する者であるといふ考へが、第四學年生に於て倍數に增加した事である。現今の如く驚く可き科學の進歩を見なかつた時代は隨分靈があるものと考へた者が多數あつた。殊に佛教信者には此觀念を有する人が今日でも多數を示して居る、けれども科學の進歩は從來人間が窺ひ知る事も出來なかつた種々雜多な者が、いつか容易に窺ふ事が出來、夫れが爲め科學の力に依つて何物も解決する事を得るといふ觀念が生じた爲め斯る結果を觀るので、不滅を主張する數が餘りの高下のないのは夫等の觀念があつてか何うかは判然しないが、慥に此方面に於ける問題が科學の力に壓迫せられた事が判る。故に其他に於ても漸次智識が進むに從つて減じて行く傾向を示して居る。

□　□　□

次は信仰する宗教は何か、の問に對する答案であるが、最初に述べた題と略似て居るやうではあるが前のは寧ろ理想として觀る方が妥當で、左に現はれた數字こそ本論の題主である。

	一年	二年	三年	四年	平均
佛教	四六	三八	四四	三四	四一
神道	二〇	一八	一九	二一	一九
無宗教	七	一七	九	二八	一五
天滿宮	二	一一	八	五	九
基督教	二	六	九	七	六
雜	七	四	一〇	二	六
不明	七	五	一	二	四

茲に於ても佛教が漸次減じて行くに反し神道が增して行く事が判る。又基督教も僅乍らも增す傾向を有つて居るが、無宗教が意外に學年末に達して急激に增加した事である。其原因も歸する處は前述の如く、科學の進歩が斯く然らしめた者であらう。其他に就ては之れといふ殊特な點を見出す事が能ない數字を示して居るやうである

□　□　□

斯樣に種々なる統計上から得た結果のものは、科學の進歩に對して宗教が幾分閑暇されるやうな傾向を帶びて來た事と基督教と神道が殖へた事實であるけれど

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

も單に此答へに依つて確實なる結論を與へ、人心の變化を論ずるに足る材料と迄はならないと思ふ。何故かなれば宗教といふものが國土に關連する者か何うか、又一旦何宗に限らず信じた宗教が其儘永い間持續されるものか何うかは疑問である。殊に我國の如き古來より外國で餘り觀る事の出來ない程幾多の宗教が國民の頭に入り、自分の家庭は神道であつておき隣りが日蓮宗であり、向隣りは淨土宗であり其又隣りが天理教である杯は外國には餘りない事實である。處が日本の宗教は極めて自由な宗教を取り來つた丈け、それ丈宗教といふ觀念に應揚な點がある。だから宗教といふ方面からの日本人は實に豊かで充分味ふ丈の餘裕がある筈で之れ等の事は要するに宗教家の考へに任すべく可くして、我々局外者には只國家をより以上、に強盛ならしむるに足る宗教が益々尊いものになり、且つ信ずる人が多くなる事は當然であるやうに思はれるから、憲法に制定された信教の自由を如何に活用し、我大日本帝國の國威を海外に發揮せしむ可きかを大に考慮して貰ひたいのである。

酒と煙草と女

文學博士　井上哲次郎

昔から見ると風儀が一般によくなつたやうに思ふ。明治の初年頃は酒のみ醉漢が隨分街頭に見受けられたが、今日はそれが實に少くなつた。

禁酒會は成功は六ケ敷いが、青年の心に刺戟を與ふる爲めに存在の必要がある。高杉東行なども其一人で、あれは戰死したのではない。久阪は戰死であるが高杉は酒の爲めに命を奪はれて死んだのである。年も僅に二十九であつたから餘程の傑物であつたに違ひないが、惜しい事である。彼は煙草は喫まなかつた。喫まなかつたのではない大に喫しんだのであるが、吉田松陰から說かれて、煙管を折つて斷然禁煙したのであるといふ。

□　□　□

吉田松陰は煙草も喫まず酒も飲まなかつた。祭や何かの時ごうかして一杯位飲む位のものであつた。女も決して近けないといふ極めて高潔な人であつた。松陰は始めから酒も煙草も嫌ひであつたが、米國で禁酒禁煙の會があつて盛んである事を聞いて、それに感動したらしかつた。人の慾を絕つのは偉いといふ考があつたらしい。

近來は學生の集會に餘り醜態を見ないやうなのは喜ばしき現象である。併し男子がもつと婦人をトリフアインして見るやうにならなければ不可い。近頃新しい女の醜態は愈々激しい樣であるが、エリスのいふ處によると、墮落した女は男より酷いものださうである一體此の新しい女といふ樣な連中や、若い文士連中の醜行には、島村抱月氏などは大に責任があると思ふ岩野泡鳴の事件なども惡思想を流すものであるが、彼よりも社會から重んぜられてゐるだけ、抱月氏の行動は世を毒するものである。

□　□　□

新しがる連中は褒れても、併し社會全體は昔より男女關係は餘程進んだ。佛教では酒を禁じて而かも五戒の中にある。キリスト教にはモーセの十誡の中にはないが、或處に強い酒を飲んで人の前に出るなとある然るに今日は佛教の僧侶の方が飲む。彼れはあまり禁慾主義の甚しかつた反動だと思ふ。女に對しても今日では妻帶しない僧侶はなくなつた――此間迄は眞言宗だけあつたそれも內面の事實としてはもう疾くから妻帶してゐた。佛教では元來女を蛇になど譬へてある。法華經の內には五つの汚れがあるとさへ云つてゐる。それで高野山にも登れなかつた。靈山富士にも登れなかつたのである。處がこれは佛教ばかりでなくキリスト教にも、女の月水の時は汚れるとしてある。東西思想を一にしてゐる處が面白いのである。

□　□　□

今日は勿論こんな思想はなくなつたが、日本に唯一ケ所、敦賀の側に常宮といふ宮がある。其宮の村に產家と忌家とあつて、月水中は自宅で飯を食はせぬ。汚れてゐるとしてゐるので全く古代の風である。

斯樣に女を餘り壓迫した爲め、人間に中分進步しないものが出來て人類の進步を阻害したのである。

各府縣私娼花柳病檢診狀態

府縣	規定	健康診斷を受くべきものゝ範圍	時期	方法	診斷費用負擔
北海道廳	廳令	藝妓、酌婦、雇婦（旅人宿、下宿屋料理店、飲食店）	每月、隔月若くは數ヶ月一回	健診斷書提出若くは組合醫診斷（局部も）	個人、雇主若くは組合
警視廳		新聞縱覽所、銘酒屋雇女（淺草區）	十日に一回	警察醫員の診斷（局部）	個人
神奈川縣		藝妓、酌婦、給仕人（一地方）	藝妓每月一回 酌婦每月三回	警察醫立會にて私立病院にて行ふ（局部）	經營者支辨し稼高より辨償
兵庫縣	縣令	藝妓	必要を認めたるとき	指定醫師の診斷書提出	？
長崎縣		料理屋飲食店の接客業婦	？	組合にて施行	？
新潟縣	縣令通牒	藝妓、宿屋、料理店、待合、茶屋、貸座敷の雇女	必要を認めたるとき	診斷書提出	本人又は雇主
埼玉縣	縣令內示	藝妓、酌婦及料理店飲食店貸席待合運船宿銘酒屋雇女又料理屋を兼業せる宿屋の雇女（但除外あり）	每月一回	診斷書提出（局部）	雇主又は本人
群馬縣	內示	藝妓、酌婦	藝妓每月一回 酌婦每月三回	指定醫師診斷（局部）	藝妓本人酌婦雇主
千葉縣		藝妓、酌婦、雇女	每月二回	警察醫又は開業醫の檢診（局部）	保健組合
茨城縣		料理店、宿屋等に寄寓の酌婦、給仕女其他藝妓	隔月又は每月	警察醫又は囑託醫	營業者
奈良縣	縣令	藝妓、酌婦及料理店飲食店宿屋、貸座敷業者等の料理人雜從業者但し十三歲以下のもの料理人及殊に必要なしと認むる藝妓酌婦其他に對しては局部診斷をなさず	必要を認めたるとき	指定醫師診斷書提出	本人又は組合
三重縣	縣令	藝妓、酌婦	必要を認めたるとき	指定醫師	本人

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

愛知縣		藝妓、酌婦、下女等	毎月一二回	醫師の檢診（或地方は局部も）	保健自衛組合
靜岡縣		料理店飲食店の雇女	料理店月一回 飲食店月二回	組合指定醫師	保健組合
滋賀縣		藝妓、酌婦、遊藝稼其他料理飮食店の雇女	貸座敷免許地は毎月一回其他は隔月一回	指定醫師（局部）	保健組合
岐阜縣	縣令	藝妓、酌婦、貸座敷、料理飲食店、遊技、宿屋の從業者	必要を認めたるとき	診斷書の提出	本人？
長野縣	内示	藝妓、雇女	毎月二回	指定醫師（局部）	本人雇主又は同業組合
宮城縣		宿屋、料理店飲食店の酌婦又は雇女（一地方）	毎月二回又は毎年二回	組合醫師	本人雇主又は同業組合
福島縣	内示	藝妓、酌婦及料理飲食店雇女にして客に接するもの	毎月三回	指定醫師（局部）	本人？
岩手縣		料理飲食店等に於ける藝妓、酌婦、雇女	毎月一回	指定醫師（局部）	保健組合
青森縣		藝妓、酌婦、雇女（一地方）	毎月二回	指定醫師（局部）	保健組合
栃木縣	内示	藝妓、酌婦、藝妓屋、料理屋、待合茶屋雇女	毎月一回以上	指定醫師（局部）	保健組合
秋田縣	訓令	藝妓、酌婦及料理店飲食店貸座敷に抱へたる下女（一地方）	毎月三回乃至六回	娼妓病院にて檢診之無き所は開業醫	本人若くは保健組合
石川縣		藝妓及宿屋料理飲食店の雇女（高等藝妓を除く）	毎月三回	任意醫師（局部）	抱主若くは同業組合
富山縣	縣令	藝妓及宿屋料理屋飲食店の雇女	毎月一回乃至二回以上	指定醫師の診斷書提出	保健組合
鳥取縣		藝妓、酌婦（一地方）	毎週一回乃至毎月一回	警察醫立會の上指定醫師	本人若くは保健組合
島根縣		藝妓、酌婦及宿屋料理飲食店待合茶屋及貸座敷雇女	毎月一回乃至二回	囑託醫師の檢診（局部）	本人若くは組合
岡山縣		藝妓、貸座敷、宿屋、料理店の酌婦雇女	毎月二三回及び毎年一回乃至四回	檢診又は健康診斷書提出（局部）	抱主又は同業組合

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

廣島縣		酌婦(一地方)	每月二回	醫師檢診(局部)	雇主
山口縣		藝妓、酌婦	每月一回乃至二回	組合醫師若くは警察醫(局部)	保健組合
和歌山縣	縣令	藝妓、酌婦(十四歲以下四十歲以上のものは特に必要あるときにのみ局部檢診)	每年二回乃至三回	監督の下に內診したる診斷書提出	當業者
德島縣	縣令	藝妓竝に宿屋料理飲食店の酌婦	年二回以上	縣醫の檢診	
香川縣	訓示	藝妓、酌婦及宿屋料理店飲食店の雇女	隔月、四ヶ月、六ヶ月に一回	警察醫又は指定醫師(局部)	當業者
愛媛縣	訓令	藝妓、酌婦	一ヶ月一回乃至二回	指定醫師(局部)	保健組合
高知縣	內規	藝妓、料亭店雇女	每月一回以上	指定醫師(局部)	保健組合
福岡縣	縣令	料理店、飲食店、宿屋、酌婦、藝妓雇女	指定したる時	指定醫師(局部)	雇主
大分縣	縣令	藝妓	不定時	指定醫師の診斷書提出(局部)	當業者
佐賀縣	縣令	藝妓、酌婦	每月、二ヶ月、三ヶ月に一回	指定醫師の診斷書提出	本人
熊本縣		給仕女(一地方)	每月一回	郡立病院の檢診(局部)	營業主
宮崎縣	縣令	藝妓	每月一回	指定醫師の診斷書提出(局部)	本人
鹿兒島縣		料理店、飲食店に於ける藝妓、酌婦雇女	每月一回	醫師の診斷(局部)	本人又は保健組合
沖繩縣	縣令	料理飲食貸座敷及藝妓、酌婦	必要を認めたるとき	警察的檢診若は指定醫師の診斷書提出(局部)	本人若くは抱主

廓清春秋

河合北洲

分水嶺に立ちて

迷雲より迷雲に入る、三百六十餘の日級を登り盡して、今や、年末年始の分水嶺に立つ、回顧はこれ別離の情なり。

年始の首途に希望の理想を追ふ、理想のサーチライトに遠景の歴々たるを見る乳溢れ、蜜流るゝ平原を開けば、流るゝ河川に百事疏通の道あり、道を讓らざる土壤に成功の山を築きて、山には五彩の雲を吐き、雲の如き森林に燃ふる夕照を映じたる光明の世界、自己征服の版圖たりしもの、今將た何處にかある。

理想は空想の山を下りて、實現の道をたどれば、一歩一歩に意內意外の迹あり、兩脚は自己開拓の地歩を占むるも、地歩夫自身は運命の車軸に廻轉して、進むもの進むに非ず、退くもの退くに非ず、終始は同一の軌道の傍、乘ずべき風雲の突發せざるに非るも、多くは霧の如く去りて成功を霞に隔つるあり、富貴を浮雲に托して、壯圖空しく水に流れ、同行も次第に墳土草賊と化して、迷路は深く森林に入る、森林深き所、沈み零落の淵、墮落の溝は容易に浮ぶべくもあらずして削れる障壁の山に攀ぢる煩悶努力に、足躓き、體疲れ、根盡きて、悄々として落行く孤影に冬日も冷かなり。冷なる理智に囚はれ、古人外人の糟粕に不斷の醉を買ふ今の學者、權勢の火に焦れて、羈絆に忙しき世の政治家、景氣不景氣に逆上して、酉市の熊手を打振る近眼の商業家、感情と勘定の腹に生れて、債鬼たり、債鬼に追はるゝ師走の行人よ、何如に其姿の霜枯るゝを見ずや。

人生、自から自己超越の道あり、迷雲の上、日光の輝けるを見る。

日記帳の貸借

窮通は命也、成否は天也、天命のある所は我の關する所に非ず。只だ罪を天と人と、物に獲しや否やは、我生の貸借關係也。

人生の生活には自ら生活の意義あり。意義ある生活は我の務むる所也。我タイムの支配人たる我は、三百六十五の借入に何の貸出しかある。

人生の存在にも自ら存在の價値あり、價値ある存在は我の務むる所也。然も與へられたる五尺幾寸の立方體、其容積の評價、財產狀態は幾何ぞや、僅かに人類十幾億萬分の一としてに非ず、同胞七千萬分の一としてに非ず、或は將た家族幾分の一としてに非ず、神と面々相對する人たるの價値、幾何なりやを問はんと欲すれば也。

日常の生活、平凡の道德、衣食座臥の儀禮、之を砂塵と吹くも可也。之を金泥と塗るも可也。唯斯の如きもの、これ人生の生活にして、意義も價値も此處より生ずるを何如、宇宙の明鏡は日記して、炳乎たる帳裏に消すべからざる貸借の分明なるを如何。

名奔利走の巷に日夜を送りて、向上修德の朝に新生の顏を洗ひしこと幾度ぞ。

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

情炎欲火の焔を燃やして、克己忍耐の晩餐を取りしこと幾度ぞ。利己獨樂の待合に沒入して、博愛慈善の公道に立ちしこと幾度ぞ。毒言苦語の井戸端會議を催して、德を建て道を植うる清談の人となりしこと幾度ぞ。虚榮虚名の看板を賣るに忙しく、財を天に積む緣下の行事に勵みしこと幾度ぞ。我爲すべきの善をなしたるは幾匁にして、我爲すべからざるの惡を爲せしこと幾噸なりしぞ。

苛責の匕首、胸に觸れて、慙愧の血痕滴々たる邊、我に尚は我たるの命脈ありや、否や。貸借の幾關係を悔改し解除して神の前に立つべき面目の尚殘れるもの有りや、否や。更に又此貸借關係を贖ひ去りて、新天新地の新面目を與へんとする義人の膝に果して跪くの勇ありや、否や。

日蔭國の流行病

食なき日蔭國民の流行病は生活難也。
神なき日蔭國民の流行病は神經衰弱也。
生活難と神經衰弱は聯合して自稱一等國民を襲ふ、これ何の兆ぞ。

生活難と神經衰弱の一時的療法は黄金劑を與ふるに如かず、黄金劑の効驗する所、食は飽くに足り、魂は溶かすに足るべし、唯激藥療法なるが故に、藥毒の凡ぼす所、骨を枯らし、心を刻まざるに非ず、寧ろ根治的療法を以て、徹底的に醫治の効を奏するに如かざる也。徹底的醫治とは、自然に來る斷食と赤裸を順用するに在り、斷食と赤裸は人生の最前にして、又最後なる自然也。此自然にして又必死なる教室は、最も眞面目なる教訓の行はるゝ所、既に虚心なり、必死なる最底よりして物心二面の初歩に上ぼる、寒しても一枚の衣に暖味あり、貧しとも一飯の食に胃の腑を慰むるに足らば、一日の勞働は全身の汗を呼び、虚心の謙遜は同情の情緒を促して、神に接續する能力に、汲めども盡きざるの泉は湧き、神に接續する同情に燃やせども消えざるの愛は燃ふ。不盡なる泉の湧く所、不斷なる愛の燃ふる所、これ日輪の照らす國土にして、死蔭の谷には非ざる也。

恐るべきは習慣の惰弱也。痼疾の自我也。惰弱の手に汲むべき瓶釣の繩を斷ち自我の冷水に同情の燃料を消すものあらば、これ寒天寒地に寒胃を加へ、更に戰

□□ 遊廓物語 □□ (二)

救世軍婦人救濟係
伊藤富士雄

▲娼妓損料貸の失敗話▼

娼妓も我々と同じく人間であるから、物品の樣に損料貸しといふ樣な貸借杯は出來る筈がない。法規の明文に依つて立派に人身と金錢貸借は全然別物になつて居る。然るに彼等樓主連は娼妓の無智なるを幸ひとし物品扱同樣な「損料貸といふ」惡辣極まる手段を用ひ、不法な金を卷上げては慾を肥して居る。左記の事實も、如何に彼等樓主が物凄い策を廻して居るかゞ例る、これは大正元年より五年に至る今日迄の間に自分の手で救濟した娼妓五百人中より得た一つである。

或日の事、新吉原角町一力樓事加藤方の出稼娼妓伴内といふ者と、其馴染客なる淺草吉野町皮商某とが同道して身の振り方に就て相談に來た。某の話に依れば伴内とは互に信じ合つた仲なので本人が二回迄、自分を便つて遊廓を脱け出して來たけれ共、固々自由廢業杯といふ事を知らないが爲、其都度樓主から訴へられて二回の科料に處せられ、揚句の果てに散々叱り飛ばされて泣く〳〵逆戻をしたのであつたが、何うしても本人は稼業が厭だといふて客を遂けるので、遂に私に對して樓主から談判を持ち掛けて來たのである「折角大金を出して買つて置く娼妓が、稼業が厭では借金の型が付かぬ。そこで本人は外泊休業の許可をして貰った

慄を加ふるものあるべし。

クリスマスの夜

爛たる幾億の星光は、二千年の印象に覺め來り、野に囁きし牧羊者の聲も、地の果より果に響きて、クリスマス來の歡喜は、人類の何物かを解ける謎の如し。

破壞と建設は宇宙の二大勢力也。消極と積極。動と反動。干潮と滿潮に勢力の据を拂へば、一年には新陳代謝の四季を模樣し。一日には晝夜の二幕を演じて、觀客の心理にも現狀打破、局面展開の高潮に堪へざらしむ。高潮漲り來つて、局部の革命に洪永の悲劇を演ぜば、更に精神的世界大革命の氣運は促されて、大破壞の斧を揮ふと與に、大建設の首石を築くもの、理想直ちに現實たる、之をナザレのイエスに見る。彼が時代精神の破壞何ぞ猛烈にして斯く徹底的なる。神國建設の何ぞ無邊大、個心小にして又無限久なる。これ實に人類有て以來の破天荒也。彼の心臟は十字架上に血の花を散して、花に愛の實は滴る、滴る星のベツレヘムに、彼の生誕は一人の生誕に非ざる、罪に死せる億萬心の生誕也。億萬心これ億萬心に非ざる、億萬心、これ一心に生くるの生誕也。

雲は凍る、風は戰ぐ窮冬の一夜、綠濃なる常盤樹に、電光の華、翫具の實、無邪氣なる暗誦、唱歌、對話に新生の春を漂はす家庭あり、學校あらば、これ天地の經綸に先ちて、自家の一陽來復を迎ふる也。一陽來復の漲ぎる處これ神國の地上化、現實化なれば也。

雪の晨

天地の夢さめて、白たゞ一白。

宇宙の默禱は、闃として寂また寂。

滿目紅潮の太陽、撻を排して光臨すれば、白被光被の無盡際は眩ゆき聖美の世界、光明の世界、淸新の世界なるを見るのみ。

小宇宙の人生、破れたるもの、汚れたるもの、暗きもの、亦白被光被せられて新生の別天地に、永生の春を迎ふ。

倫敦の私娼退治

倫敦の婦人巡査四十人の部長を勤むるドーソン孃は、戰時倫敦の目貫の場所たるピツカデリー廣場、及レスター廣場の賣春婦（總て私娼）を禁止すべしとの意見書を發表して人心を鼓舞しつゝある。

から斯うなつたら最後何が何んでも身受して貰はればならぬ」といふて其手付金百圓を取られた。其後二ケ月許は何の音沙汰も無かつたが、樓主より復又談判を持ち込むで來て、今度は『殘金を全部支拂つて呉れないならば、娼妓を引上げて從前の通り店に出すが如何だ』と隨分手强い手段で迫つて來た。私は何うしてよいやら薩張り判らず途方に暮れて居た所へ、近所の人が來て救世軍へ行つて、力を借りたらよからうといふので訪れた次第である」と。其手段こそ娼妓損料貸しの方法である。而して其手に乘つて、マンマと百圓の金と娼妓を卷上げられる處であつた。

早速娼妓同道日本堤署に出願し自由廢業を遂げる事が出來たけれども其時は既に某の處へ行くのが嫌になつて了つたのである。馬鹿を見たのは某である。本人が救世軍の手を借りて自由廢業が成立したので、身受廢業が出來なかつた。そこで某は早速身受の手付金の取戻しと娼妓二ケ月間の賄料等の支拂請求を樓主に迫つたのである。驚いたのは樓主で、マンマと百圓といふ大金を卷上げたと手を打つて喜んで居たが、計らずも自由廢業といふ事に依つて折角仕組んだ損料貸しも全然失敗して了つた。大慾は無慾に似たりといふ諺があるけれども、彼等は人を手玉に取り、如斯人身賣買をやつて大慾を逞しふするのである。世間に斯かる毒手に罹つて途方に暮れて居る人達があるなれば、それこそお氣の毒な次第であると謂はればならぬ。併し元來が此方法は樓主が當然法律の明文に依つて處罰せらる可き性質のものであるから、こんな話を聞いたなら早速救助するのが人の道である。

次は晴着て救世軍に御年始旁自慶

工業的奴隷

小樽高商　吉田彌之助

川俣町に於ける百餘の小工場主（工場法の適用を受けざる工場主）諸君余は今夏上京の途中貴縣重要都會に於ける十數個の工場を參觀して豫て余自身の職工たりし經驗から押して職工其者の實に可憐なる事は十分承知して居たが先般貴地を訪れて殊に其の感を深うした故茲に鄭清紙上を通じ次の數項に關し諸君の反省を促しもう少し良い工場政策をとつて欲いさ考へた。

貴町大多數の工場主は十五名以下の職工使用者である爲に折角職工保護の目的から出た工場法の適用をも受けないで相不變十七時間の勞働を強いて居らるゝ由

諸君如何に他人の子を金錢を以て使用するさは云へ餘りに殘酷ではあるまいか、早い話が諸君自身が一日十七時間の激務に服する事が出來るか又諸君の愛する子女をして此の勞働に服さしむる事が出來ますか鬼の目にも涙さか到底不可能な事でせう、然です人の身體は機械でない故に一日の勞働時間はほゞ定められて居る人によつて一日十時間を以て適當さし又八時間を以つて相當さする。特別法を以つて許されて居る六時から九時迄さ云ふのがそも〳〵長すぎるのである況んや十七時間の勞働なぞ言語道斷の事でなくてはならぬ、自分にも出來ない又自分の子女にも强ゆる事の出來ない事を他人の婦女に强制して而も自分には黃金の汁を吸ひ五色の酒に入浸り遊蕩蓄妾を事さする者果して帝國重要輸出品の製造家さして立つ事が出來やうか。

又諸君は其れが最上の工場政策であるさ心得て居らるゝのであらうか見給へ前には諸君さ同樣十七時間の激勞に服して居て今日少くさも二時間短縮した大工場の成績が今尚十七特間働いて居る諸君の工場よりヨリ良好な成績を擧げて居るではないか是に依つて見ても諸君の政策が誤つて居る事は明でないか諸君は少くさも工場を管理さるゝに當り經濟主義に基いて居らるゝ事さ信ずる、抑々經濟主義さは「最少の勞力を費して最大の結果を得る事である然るに諸君は其の主義に依りながら最大の勞力を費して比較的少なる結果を收めてゐらるゝさは矛盾も甚だしいではないか、此の長時間の過勞が發育盛りの子女の心身を傷ける事は何れだけであらうか余は醫師でないから茲に醫學上の實證を提出して參考に資する事はしない然し其れによらずさも凡そ常識を以つて其の害を十分知る事が出來るのである。諸君日本の羽二重が粗製濫造であるさ云つて世界各國から嫌はれ甚だしきに至つては實業道德の皆無國さ迄云はれて居る事をよく御承知でせう、長時間の過勞は疲勞さ睡眠不足を來す疲勞した身體さ睡眠不足の目を以つて機織する時に粗製濫造は免れ得られない結果である而して其責任者は誰？其の責の歸する所は可憐なる職工を酷使する諸君でなくてはならぬ。羽二重粗製の責は羽二重製造家にあるのである、序に付け加へて置き度い事は諸君の工場には、何等醫藥の設備（病室等は勿論ない）さ云ふ事ある。で是は町長の言明である、然し諸君自身が別に不自由がないからさは云へ又工場法の適用を受けないからさは云へ餘りに無責任過ぎるではないか、是等の設備をしない事は結局俗

兄弟喧嘩の眞理

元夕陽ヶ丘高女校長　伊賀駒吉郎

人間には本能さいふ者がある事は誰も知る處である澤山ある本能の中に鬪爭本能さいふものがある。

▲兄弟喧嘩は卽ち其本能から出て來る自然のもので、普通なら當然行はれなければ如何かして居るのである。だから少さい時喧嘩をするのは少しも心配す可き事ではない、世間では兄弟喧嘩を兩親が、固く戒めて、折角の鬪爭本能を臺なしにして了ふやうな事實があるから、それに就て少しく語つて見たいさ思ふ。元來小さい時の兄弟喧嘩や朋友喧嘩は一種の遊戯である。其證據には今喧嘩して互に摑み合をして居るかさ思ふさ、急ぐ其場で仲善く遊んで居る。「今鳴いた烏が一寸笑つた」杯さいふ言葉は、それを指したもので子供の喧嘩位早く又仲直りの早いものはない。それが眞個の喧嘩になつて行くのは年齡さ同時に、自我意識さいふものが明かになつた來た時で、丁度十四五歳の頃から徐に自分さいふものが現はれて來るのである。之れ要するに我々人類發達の順序であつて、謂ひ替れば我々が人間さして

▲一人前になる準備なりさいふ事である。

さういふ自我意識を含む本物の喧嘩はよろしくない。が其意識のない幼い時分の兄弟喧嘩は、或る意味に於て是非必要なものである。這麼事を言つたら嘸變に思ふ人が多い。多いから兄弟喧嘩支は絕體に嫌つて居る事になるが、實際幼ない子が大聲を張り上げて泣いたり又は喚いたりするのは騷々しく五月蠅いものである

に云ふ一風儲けの百失ひと云ふた風のやり方である例へば諸君の工場に働いて居る一人の女工が發病し彼が地方から來て居る場合で病身を以つて歸國したと假定しやう女工の親は必ず不滿に思ふに相違ない是の不滿が擴まつて一村の輿論となり風評となつて諸君の工女募集は非常に困難になつて來る又若し前記女工が町内から來て居るものとすれば尚更、何れにしても職工を得難くなる職工の不足は遂に事業の不振を來すのである、諸君にして眞に自家工場の發展を期待さるゝならば工場法の適用は受けなく共是等の點に今少し留意さるゝ方が諸君の爲と信ずる諸君活眼を開いて内外の大工場主が如何に職工を大切に過しつゝあるかを見給へ

諸君!! 諸君は力なくして一日生きて居る事が出來るか? 出來得ないでせう、職工は工場の力である其の力を亡さうとするは何たる非合理な政策でせう、職工政策に關して今一事付加へて置く、

聞く所によれば川俣工場内は非常に風紀が惡いとの事である、他に何等の慰安機關を持たぬ職工達には或は其れ以外に何等の慰がないのかも知れぬ然し日と共に人心は腐つて行くのである、是等の腐れ行く職工男女の堕落を何ぅお考へになりますか? 職工は工場の力である、其の力の堕落を何うお考へになります如何に風儀は亂れても直接關係がないからと云つて打ちすてゝ置かれますか、力の枯れた身體は死にます而して力の枯れた工場も亡びます、諸君今の中に一大改革の實をお擧げなさい然らざれば川俣の將來は暗である。

最後に諸君の或工場では女工雇入れに當り殊に貧困者に對して前金として二十金乃至三十圓の金を與へ而して三年乃至五ヶ年間彼等の勞力を使用さるゝとか而して若し途中で契約を破るやうな事があつたならどんな處置をなさるでせう、悲しい！云ふに堪へざる程の事をするでせう。

金で其人の勞力を買ふ－而して其の勞力を他へ轉賣こそなさゞれその行爲は人身賣買ではありませんか奴隷的取扱ではありませんか一日十七時間の酷使娯樂慰の設備皆無唯是のみでも奴隷的取扱だと考へる余は實に勞力の買收さるゝ事實を知りては可憐なる職工達を工業的奴隷而して諸君を奴隷使用者と呼ばざるを得ない此の變的制度を一日も早く全廢し今少し情味ある取扱をなし資本主職工相協力して小は我家の發達大は一國の隆盛を圖らるゝなら如何に幸であるか知れない

諸君の使用して居らるゝ職工の大部分は婦人であつて男子に比しては弱いものである故に結束して同盟罷工を起す程の勇氣は先づ在り得ないから安心である然し窮鼠却つて猫を嚙むの例の如く餘りに酷使さるゝ時は何時迄も弱い婦女子では居るまい。

又よし職工の方から何事も起らないにした所で血あり涙ある資本家が現れた時に一大トラストを組織して諸君の工場を空にしてしまう時が來ないとも限らない余は此の一文を終るに臨み特に川俣町の當局者に對して希望したい四つの箇條がある。

一、勞働時間を短縮して大工場と同樣にされたき事
二、職工病者に對し相當の設備をされ度事
三、職工の奴隷的取扱を全廢され度事
四、職工風紀矯正の爲め何等かの機關を設けられ度事

若し此等の事が實行されなかつたなら諸君の工場は早晩大工場に合併さるゝか乃至自滅する運命を持つて居る工場と職工を救ふものは信仰である、而して貴町に於ても最も缺けて居るのも亦信仰である、余は其れを甚だ遺憾とするものである。

五、十、八、

が只喧しい五月蠅いといふ許りでなく、其他に子供の身に取つて有益になるといふ點も考へて貰いたい。兎角從來は害の方だけを觀て、直に之れを排斥したやうな傾きがあつたが、兄弟喧嘩も大なる利益がある。といふ考へも持つて欲しいのである。偖て其利益とは何であるかといふに、あれは成長の曉社會に立つて力戰奮鬪的生活を爲す一の準備である其生活を爲さんとする彼等小兒に取つての

▲自然から附與された賜　である。小兒はそれが爲め全力を盡して喧嘩をするが爲め、身心を鍛錬するに最も適當なる方法で、實に天の賜である。故になるべく家庭内には見易き場所に刄物等を置かぬやうに又小兒の遊ぶ座敷には成可喧嘩の危險のないやうな品物を取り去つて、力量に依つて謂はゞ角力のやうな方法にして欲しい。小兒同士の角力杯は確に其方面に於て好手段である。今反對に結果を考へて見ると兄弟喧嘩の相手の無い一人子は大概意氣地が無く勢無く育つて居るそれから總領の人が好いのは常に年が上で弱者の位置に立たぬから稽古臺が無くて弱い大阪相撲の如きものである。面白い事は小さい時盛んに兄弟喧嘩をした者が他日成長して兄弟仲が頗る仲好くなる許りでなくて

▲又他人に情誼が厚い事　である。兄弟喧嘩をせぬ者には情の無い者が多い之は原因が結果か結果が原因か知らぬが喧嘩をやる位だから情合が厚いのであらう。兄弟喧嘩をさせまいとすれば小さい時からの訓練方法で出來るがそれが果して宜いか否かは疑問で實社界の競爭場に立つ後日の爲めに此の本能を練習する一の必要と思へば奬勵せぬ迄も無暗に禁止す可きものでは無い。(文責記者)

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

天鼓の響き

廓清號を讀んで

横濱 梅翁

■社說第一欄に、寺內內閣の出現と云ふ見出がある。其大意は憲政主義とか超然主義とかは廓清會は關する所でないが寺內伯は嚴正だ、後藤男が附て居るから悲觀せぬとあつさり書いた。僕はあつさり思はない。兼て眞面目な嚴正な寺內伯が、國家の大倫を擧げて遊廓の犧牲に供する乎嚴正でなくも常識のある者はせぬまして嚴正過ぎていやがられる伯をやである、後藤男は確實なるクリスチャンである何見ても廢娼大勝利である。

■第二欄は奇想天外の醜業だが、道德律の基礎が一定せぬと一時の功名に驅られて、斯んな事をする寧憫諒す可き事である、世の及ゝよ道德律の根底を知り給へ。

■第三欄に敢て花の日會に告ぐとある、そして二ケ月を經て一人の私娼を得たと詰責してある、之れは廓清號が甚だ暴戾であると思ふ。名は實の賓なりと云つてある。固より十字架を負ふ會とも名づけない花の日會世間は火の車でも、我會丈は花の日であると標榜して居るではないか、僕は當然な所爲だと思ふ。

■次に救濟上より觀たる公私娼である救濟上より見ても倫理上より見ても國辱上より見ても公娼程けちな者はありません、花の日會は會名を改めぬ內は責任問題とはならぬと思ひます、花の日會なる哉。

■次に貞操問題と各工場、或る會社員が友達の所に鳥渡來て呉れと使を遣はしたから車に乘つて往くと待合に俥が止つた、案內に伴て座敷に通ると、呼んだ友達が泥の如く醉て藝者を擁し、此の女を根引して何か店を出すつもりだ、工夫して呉れ給ひ、二日の遊蕩費が百二十圓、親の金を持出して來たのである、此友には三歳に當歳の二人の子がある、酒を飲ぬなら社員から惡まれて勤まらぬと云ふ、氣を附けー。

■切なる母の叫び、(一)斯る母がありませんです、斯る母を作らねば亡びです(二)前段の會社員を讀んで頂きます(三)共に亡び往く世の中を、血に渇けるか(四)山室大佐の亡婦きみ子の傳はふるき女ですふるき女なる哉。

■飲酒問題と社會である。酒の一番勢力を有して居る所は、諸會社の會社員である私の最も接近して居る或會社員は下戸である、子供等にも酒氣のある者を與へぬやうに嚴重に注意して居る。けれども社員の訪問があれば酒を出して大酒を呑む、でなければ位置も保

純潔の德とは何か

福岡 藤久頼寂

歐洲の天地は血に塗れ、國と國とは互に人命の尊きを犧牲として今倘爭鬪中に有之、何時終決するか今の處殆ご豫想だも不能候。我日本にも目下コレラ病全國に漫延し、幾多階級の人は倒され洵に歎かはしき狀態に御座候へ共、之等は要するに一時の事變の爲めに誰しも恐怖、狼狽するものに有之、常に社會の或る方面に流るゝ我等が比評眼を向けざる病原のあるを思はざるは、如何に通性と稱する習ひの然らしむる處とは乍申遺憾の至りに候はずや。

公娼並に私娼等より傳染の死に遭へる罹病者の數多きは今更乍らなれども、梅毒等は四六時中間斷なく人をして地獄のごん底に陷らしむる者、戰爭並にコレラの如きは一時的のもの、夫れと之れとを充分比較して見る時に如何に花柳病の怖ろしきは三歳ならざる人間には判り切つたる事と被存候。然れども本部諸先生が常に說かるゝ如く、公娼私娼共に社會は公然之を許して以て品性の墮落を傍觀して止まざるは何たる事に候や我等は此の上只當局任せでは安心出來申さず、只管我々の自重心よりして彼等醜業婦をして、跋扈せしめぬやう致し度ものに有之候。之れ一方本會の運動が當局に向つて突進する他方面に對する、我々會員の責任には無之候や。小生は斯く信ずるが故に、先づ其立場よしりて純潔を保つ事に努め居り候。

而して我々が醜業婦等に近附かぬが最も安全なる道と思はれ、本誌十月號に揭載されありし伊藤江南先生の純潔第一に如ずと被存候。セネカ氏が言ふ處「豫防に忠實なるは治療に遠かなるよりも賢也」此一言以て

たす昇進もせぬ、前項御參考を願ふ、會社々長に解得させる事が先づ下戸の第一着と存ずる。

教育ある婦人の貞操觀、前段にも略云ひましたが、我國の道德律が區々になつて居るので提題の如き答が妙な光彩を放つと思ふ、區々たる道德律を持つて居る國民は如何なる者か。

■女學生の倫理觀研究、之れが各種別に付詳細解釋を試みたのがありますから、別に申上ますが、女學生達の答は先づ自己の努力を要する件と自己の自任(興味)に多數の點がある、第一氣の付のは無宗敎欄に一年が一四、三四年が〇である我國宗敎觀念の缺乏と日曜學校の惠を感ずる。

幼子の心の花も年たけて
浮世の風や吹き亂すらむ

それから忠孝である我國の詞に緩急の熟字が急に重きを置き忠孝と云へば忠に重きを置くと云ふ習慣であるであるから半男性的の一二年のお姫樣達が三二、三一である、いざその場合はうち物押とつての氣慨小學校仕入の熱その儘である、およめ氣ざりの三四年は至つて落莫たるは甚だ興味深き現象であると思ひます。

生れ來て浮世の旅の路歩み、故郷をしも忘れぬる哉。

■廓淸の三綱、此三綱は我國當面の急務である、けれども前段縷述する如く、又貴說の如く我國の道德は儒佛の學說によつて立てあるが爲めに、甚朦朧體で不徹底である。女子人格に就ては寧半人格主義で女子人格は非常に汚されて居る、之れが習慣性を成して、貴說の如きにも耳を貸さず痛痒を感ぜぬのである。泌々と善惡邪正を感ぜしむる者は宗敎であると信じます、宴會の改良は尤も急務中の急務と感じます。

■裏長屋の精神修養(二)、貴說の如く天然の美は何程か精神の慰藉になるか知れません、口の缺た土瓶に草花など、何時見るか分りませんけれども樂んで居る彼等は、存外無邪氣で夫婦喧嘩など腹一杯やる、けれどもそれ丈無邪氣な所があります。腰べんの中等先生より腹は潔いと私は見る、誠の修養を與へたならばと企望に堪へません。私は裏長屋に接近して居ります。

■丸山保安部長の說を許す、彼れは兵法に長じて居る敵の鋭鋒を避ける爲め牽制法をやつて花柳病に敵を向かはせた、昔或大將が敵が今少し北を向かぬと味方の不利であると云つた。或旗下の一將が向かはせんとする方面に手勢を出して敵を注文通りに向はせてある

■廢娼主義の成績は、成績であるから何でも評言を試むる餘地がない、底頭平身して拜見する、猶無料治療によつて黴毒患者の續々出て來たのによつて察するに我等の知らぬ罪惡が伏在する事は公娼によつて、花柳病以上であらうと察する、ぎう太郎さかの詞に此處は地獄の一丁目だよと云つた。

■廓淸春秋、華廼の妙音、皮肉の徹底は眞綿でサメンの首を絞らんとする者か、辻占千平から取り付た修養書自己も解得せは人も不解の御注文に徳度されて行く極樂は氣つかはしい者、生活難底生難の風滔激浪には沈みかゝりて、主よ助け給ひと云ふ事度々、奮鬪の假に收穫の牟拂なきは誠なり、小の小なるを大の大となす者はパン種なり、人はパン種を敬む可きか。

人生と宗敎眞髓、唯貴ぶべし。

■南米の賣淫取締に就て、我國の一等國たるは物質上智畧上、武士道上の一等國であつて、心靈上の一等國ではない、二十歲の壯丁か十八歲位の子供の心靈を持たやうで、さてと思ふ事が甚多い、唯智識が進んであるから奇禍を免かれて居ると思ふ。

我々が尊守せれば軈て我々の身體に、且又彼等の行爲に全く一變するの曙光あるべくと思考せられ候間何卒會員各位、右のセネカ氏の言は忘れざる樣切望に堪へず候。されば我國家をして海外に光輝ある神聖國と仰がするを得べく、終に會員諸君の健康を祈上候。

無鐵砲極まる藝術家

岐阜 中島幸次

何も知らぬ外國に迄も、我日本國の最も恥辱として現今國家の大問題となつて居る公娼(花魁)の風姿を演じ、大喝采を受けやうと大仕掛に仕組んで渡米の許可を受けた貞奴一座が、本會と救世軍との二つの團體から、一は國辱、二は外交問題等から渡米の禁止を其筋へ願出てた處、見ん事我徒の勝利に歸し滿天下の諸新聞は筆を揃へて、本會の主張を賞頌した。就中東京日々新聞は論說欄に堂々と其所論を奏述して、天下の輿論に訴へた抔は、近來の一大痛快事である。自分は本會の一會員だけに一層歡喜の感が深い。

元來芝居其物の善惡は我々が常に充分識別の能るものと思ふ。然し乍ら其人々の歡ぶ樣或は又、解釋のし樣に依つて幾分の相違はないでもないが、要するに泥棒の出現する者や、娼妓が出て淫逸な言語動作をする事抔は、夫れ相當の經驗と理解力とを持つた人ならまだしも、芝居其物を正面に見る人には洵に面白くない結果を起す原因ともなるのである。殊に米國等の如き何にも知らない人の前に、淫逸極端な藝當を洒け出すのは考へものでなからうか、苟くも國家といふ觀念を持つ人間なら直覺的に浮ぶ眞心である。川上貞奴なる者、果して其眞心奈邊に存在するやと聞いて見たいと思つて居る。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

熱血紅涙

□田邊希臣君（横濱）　貴會御發行の廓清雜誌每號拜讀致し居り候處、近來益々其感に打たれ候は文の巧拙をきらはず主義の何たる宗敎たるを問はず、苟も世に力を致さんとするものは、ドシドシ掲載さる度量に於ては、乾坤の概あり候。雜誌の弊は只管讀者の鼻息を伺ひ、記事の撰擇其他萬般に亘れる編輯は、之れ只雜誌の賣行きのみの打算的考へよりなるべしと愚考せられ候。然るに廓清に至りては意氣天を衝の概あり、主義の爲めには利益等の事を眼中に置ざる處、將に天下一品と稱すも決して過言にあらずと斷言するを得候。儀前途の祝福を祈り申候。

□大田黑一正君（熊本）　益々本會の光明は天下に汎し、發展しつゝあるを喜び申候。不肖今年二十歳の田舍靑年にて候へ共、何さかして當地方の風敎をより以上美しくし度、昨年他人の氏名にて入會したる者に有之候處、今回は最早廓清會の一員として何等憚る處なきを得たると自信仕候間、小生の名儀にて新に入會致度此段御承知被下度願上候。

□佐藤留次郞君（神奈川）　私事上京の砌神田某書店にて貴會發行雜誌を購ひ、近所隣へ見せたる處今更乍ら斯る眞面目なる雜誌の在りしかと驚き合ひ申候。早速小生をも會員の一人に加はらせ被下度此段御願申上候。

□高橋一勇君（北海道）　秋冷の候本部諸先生には何時も乍ら御健在に御活動あらせられ、感謝の至りに堪へず候。小生儀東京を去る事極めて遠く、何かの運動にも何等役に立ち不申、面目次第も無之候。せめては會員にても加りてと心懸、左に三名紹介申上候。

□伊藤耕雲君（三重縣）　今や社會の風紀頽が上にも紊亂し停止する處を知らざる程なるに、貴會の如き純潔を保つべきを敎ゆる團體の出現は、國家に取りて如何なる天祐か、他にも何々雜誌等と叫號するも其實內容は、只管讀者の歡心を買つて實淫敎を殖す事のみを考へ、國家といふ極めて大切なる土臺を忘れんず有樣なるに「廓清」雜誌を一見するに如何に其抱負の絕倫なるか、實に國家として慶賀に堪へざる事に有之候はずや、不肖小生をも會員として加はるを得ば幸に候

□林哲彌君（長野）　この度は伊藤先生の高著「飛田遊廓反對意見」一部御惠贈に預り難有御禮を申述べます。直ちに一讀致しました。こゝに先生の努力の跡が全誌を通じて、躍動して居ります。この書を手にせらるゝ總ての階級の方は、喜んで贊成せられ、進んで設置に反對せらるゝことを、疑はぬものであります。特に認可を與へられたる當局者は、この完膚なきまでに力說したる正義の叫びを、何と解せらるでせうか、他なし、今直ちに取消す可きです。當局者よ何を逡巡して居られるのですか、當然なされればならぬことではありませぬか、この點に就き大隈內閣の瓦解を喜び寺內內閣の出現に期待するものであります。

・終りに全力を傾倒せらたる先生の勞を謝し、大阪飛田遊廓設置反對同盟會の健勝を衷心より祈願します。

編輯の後

□歳末の砌會員諸君には定めし御多忙の事と奉察候。顧みれば日月の經過は恰も白駒の隙を過ぐるが如く、最早今年も餘す所幾何も御座なく今更乍ら驚嘆せざるを得ず候。

□轉居御通知被下候際には前號にも申上候通、必ず新舊兩住所を御記しの程幾重にも奉願候。然らざる上に於ては折角の御通知も本部相當事務整理に困難を來すのみならず、それが爲め却つて雜誌發送等遲延の虞有之候何卒左樣御了承願上候。

□會費御送金被下候節は成可振替貯金に依る方双方の便利に御座候へば爲替切手等は萬止むを得ざる外振替にて希望致し候。會費未納に對し集金郵便差上候際は出來得る限り御拂込被下度、支拂拒絕等は實に本部に取つて苦痛を感ずる次第會員諸氏御不在にても御拂込爲し被下樣御心掛け置き御願申上候。

□雜誌記事等に關し御心附の點有之候はゞ御手數乍ら編輯局迄御一報爲し被下度、或人は本誌が餘りに理論的方面に趨り內容の充實を計る一方の爲め六ツ敷過ぎる感ありと稱し、又は餘りに高尙過ぎて俗人に讀解する能はざる杯と申されつゝ有之候。併し本誌は問々雜誌の弊害を云爲さるゝ如き、只販賣法より打算せる所謂利益本意のものに御座なく、終始一貫社會の純潔を期せんが爲めのものなれば、敢へて利害問題は何等關する處なき次第に候へ共、會員諸氏の御本意は如何に候哉。（小林生）

大正五年十一月一日納本（每月一回一日發行）
大正五年十二月一日發行　一部金七錢

編輯兼發行人　神田區今川小路一丁目三番地　伊藤秀吉
印刷人　小石川區大塚窪町一番地　久保民生
印刷所　京橋區弓町十三番地　千代田印刷株式會社
發行所　芝區三田四國町二番地　廓清會本部
電話芝五八五五番
振替東京二七〇七二番

廓　清　復刻版　全33冊

1980年6月30日　　一揃定価30万円

発行者　北　村　正　光

発行所　株式会社　龍　渓　書　舎

〒101　東京都千代田区神田小川町3-28-7
電話　03(233)0441(代)・振替東京3-76123

印刷・製本　日本プリントセンター

Digitized by Google　　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

COLUMBIA UNIVERSITY LIBRARIES

This book is due on the date indicated below, or at the expiration of a definite period after the date of borrowing, as provided by the library rules or by special arrangement with the Librarian in charge.

DATE BORROWED	DATE DUE	DATE BORROWED	DATE DUE

C28

Digitized by Google

Original from
COLUMBIA UNIVERSITY